
東邦銀行の現況

平成25年度中間決算



目次

・福島県の現状

- 1 . 福島県の概要 …………… 2
- 2 . 福島県の現状 …………… 3 ~ 4
- 3 . 復興に向けた動き …………… 5 ~ 7

・平成25年度中間決算の概要(単体)

- 1 . 平成25年度中間決算の概要 …………… 9
- 2 . 総預かり資産の状況 …………… 10
- 3 . 貸出金の状況 …………… 11
- 4 . 福島県内の預金・貸出金シェア …………… 12
- 5 . 有価証券の状況 …………… 13
- 6 . 資金利益の状況 …………… 14
- 7 . 役務取引等収益(手数料収益)の状況 …… 15
- 8 . 経費の状況 …………… 16
- 9 . 貸出資産の質 …………… 17
- 10 . 経営の健全性 …………… 18
- 11 . 株主の皆さま方へ …………… 19

・中期経営計画「東邦“一步一步”計画」

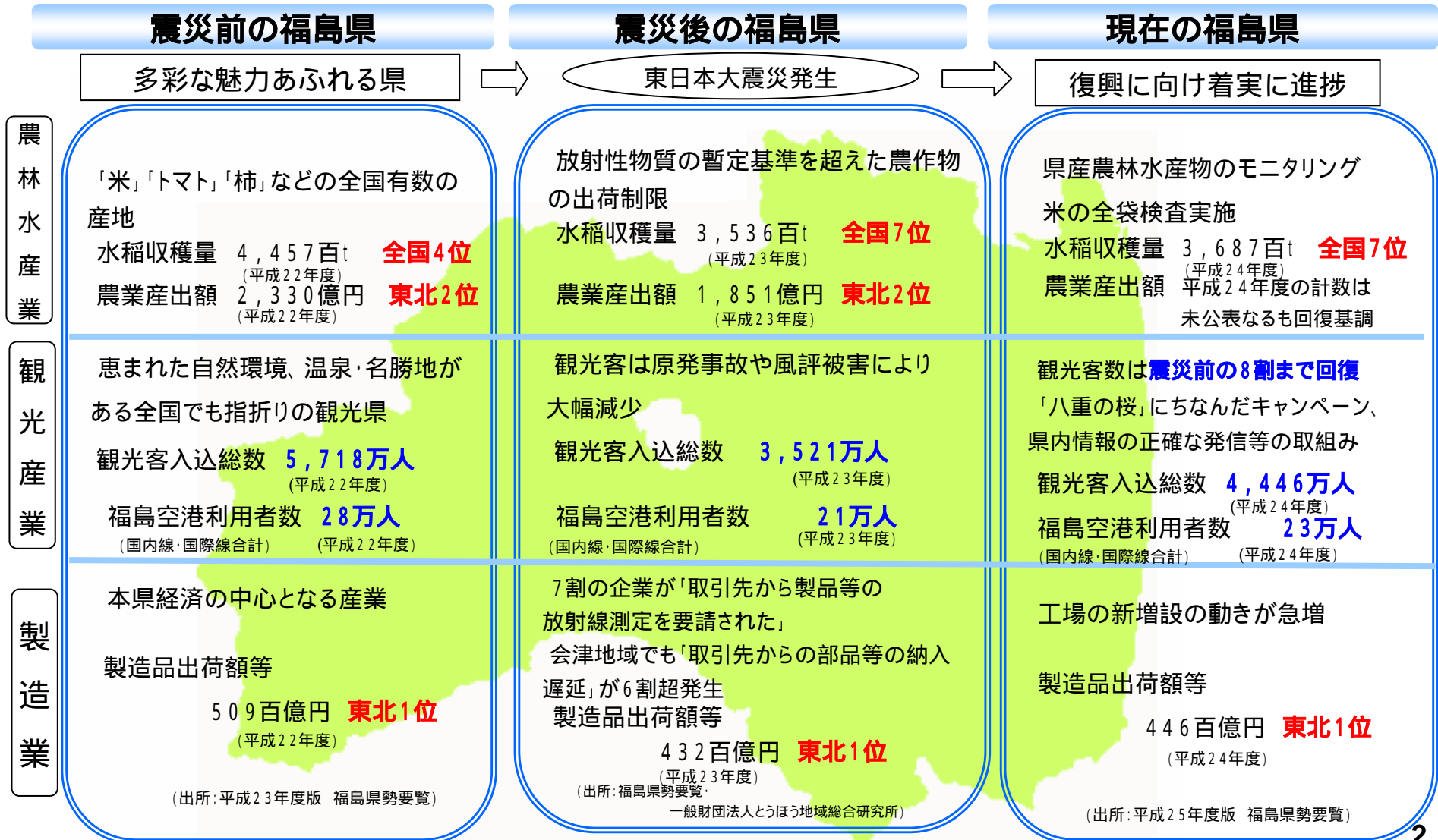
- 1 . 中期経営計画の概要 …………… 21
- 2 . 主要勘定目標、経営指標目標 …………… 22
- 3 . 復興に向けた地域への貢献
(1) 復興資金の提供による地域への貢献 …… 23
(2) 復興支援事業への参画 …………… 24
(3) 経営改善支援・事業再生支援の取組み …… 25
- 4 . 成長戦略の着実な遂行
(1) 新たな資金需要への取組み …………… 26 ~ 28
(2) ライフイベントに応じた商品サービスの提案 …… 29
(3) マーケットへの迅速な対応 …………… 30
- 5 . 経営体質の更なる強化 …………… 31
- 6 . 地域貢献・CSRへの取組み …………… 32

・福島県の現状

1. 福島県の概要

福島県は総面積東北2位、「**製造業出荷額等**」は**東北1位**(平成24年度)

広大な県土を活かした**多彩な産業**を有する



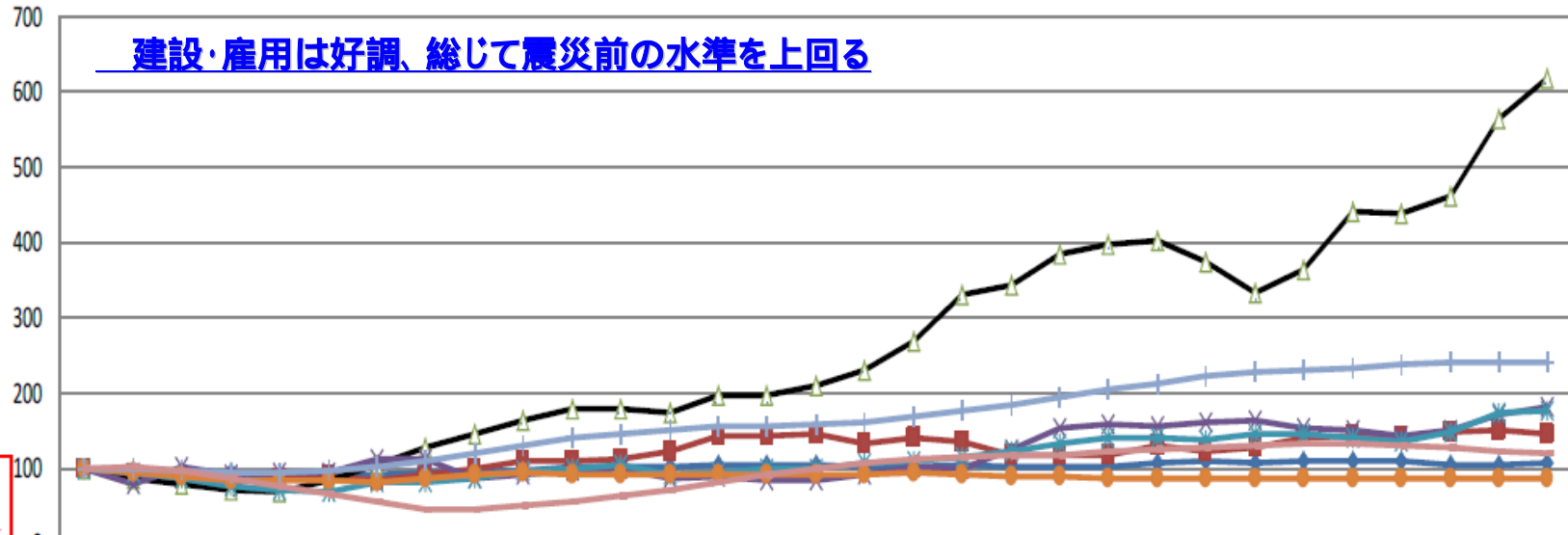
2. 福島県の現状(1) ~ 震災後の福島県経済の動向 ~

県内主要経済指標

震災後の福島県経済の動向

建設・雇用は好調、総じて震災前の水準を上回る

2011年2月
(震災直前)を
100として指数化



	2011年2月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2012年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2013年1月	2	3	4	5	6	7	8		
大型小売店販売額	100	97	95	95	90	90	92	95	97	98	103	103	102	104	105	106	102	102	104	103	103	103	103	109	109	107	109	109	109	110	105	105	107
乗用車新車登録台数	100	91	87	83	87	89	85	93	101	110	109	114	124	143	144	146	133	140	136	118	118	117	131	124	127	142	143	142	149	151	147		
公共工事前払保証請負額	100	87	80	70	70	85	106	128	146	164	179	179	174	198	198	209	231	271	331	343	386	397	403	375	334	365	441	438	461	565	620		
建設着工工事費予定額	100	80	103	93	94	95	113	112	88	92	97	99	88	89	84	85	91	102	101	125	153	159	157	162	164	154	151	143	152	172	182		
新設住宅着工戸数	100	95	87	77	70	70	81	82	88	96	100	104	93	95	100	101	108	110	116	124	133	141	140	139	146	147	142	136	148	173	177		
鉱工業生産指数	100	94	89	85	84	85	82	87	92	94	93	91	92	93	92	92	93	94	92	90	89	88	87	86	87	87	88	88	87	87	86		
有効求人倍率	100	100	98	95	95	98	102	110	120	131	140	146	152	156	158	159	162	169	176	184	195	205	214	223	228	232	234	238	242	241	242		
雇用保険受給者実人員	100	103	96	87	77	66	56	47	47	51	56	63	72	82	92	100	107	112	115	117	118	122	126	128	132	134	134	131	127	124	121		

注：上記データは、各月の6ヵ月後方移動平均値を算出。雇用保険受給者実人員は実データの逆数。

(出所：一般財団法人とうほう地域総合研究所)

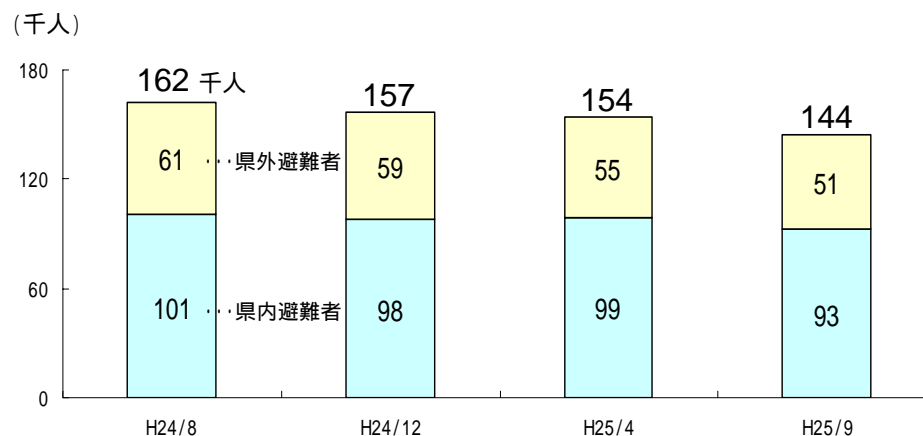
2. 福島県の現状(2) ~ 人口動態・県内地価 ~

人口動態、県内地価ともに**持ち直しの動き**

人口動態

避難者数は減少傾向、県外から県内に戻る動き

避難者数: **H24.8** 162,532人 **H25.9** 144,688人



出所: 福島県(平成25年9月1日)

県人口 約195万人(平成25年9月1日現在)

社会動態 2ヶ月連続プラス

平成25年7月～8月の**2ヶ月連続**で、県外からの**転入が転出を上回る**
(出所: 福島県)

世帯数 (25.9.1)	人口 (25.9.1)		人口動態(平成25年8月1日～平成25年8月末日)						
			自然動態			社会動態			増減
			出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
721,649	総数	1,948,184	1,272	1,768	496	2,124	2,041	83	413
	男	948,454	636	884	248	1,259	1,083	176	72
	女	999,730	636	884	248	865	958	93	341

郡山市人口 前月比209人増(平成25年9月1日現在)

いわき市を上回り県内トップ、東北2位(市政施行以来初)

情報関連企業の進出、工場増設(製造業)によって雇用が増えたことが背景

県内地価

いわき、郡山で地価上昇

住宅地の平均変動率 (前年同期と比べた地価の動き)

いわき市 2.5% **17年ぶりプラス**

郡山市 0.6% **22年ぶりプラス**

商業地の変動率

いわき市 0.7% **21年ぶりプラス**

県全体で地価の下落幅は縮小

被災者の住居移転で宅地需要が高まっていることを背景に
県全体で**住宅地の下落幅は縮小**

地価動向(平均変動率)

出所: 平成25年度福島県地価調査結果

	住宅地	商業地
いわき市	2.5%	0.7%
郡山市	0.6%	0.3%
福島市	0.5%	2.5%
会津若松市	0.8%	1.0%

3. 復興に向けた動き(1) ~ インフラ整備・観光産業 ~



インフラ整備、観光産業復興などの取組みが活発化

生活基盤の復旧

住宅除染の進捗状況

発注が軌道に乗り始めている(進捗率: 20.3%)

平成25年度末までの除染計画数 253,787戸

住宅除染実施数: H24.8 **4,207戸** H25.8 **51,633戸**

住環境の再建状況

原子力災害に伴う避難者向けの復興公営住宅、3,700戸
平成27年度までに整備予定

地震と津波の被災者向け災害公営住宅、浜通りと中通りの
10市町で計2,590戸の整備に着手

インフラ整備

主要道路

浜通りと中通りを結ぶ8路線を
「ふくしま復興再生道路」として

復興加速化を図る

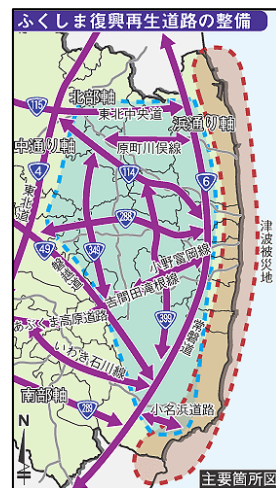
常磐道

常磐道は2014年度中にも全線
開通見通し

鉄道

JA常磐線・広野 - 滝田間

2014年春再開予定



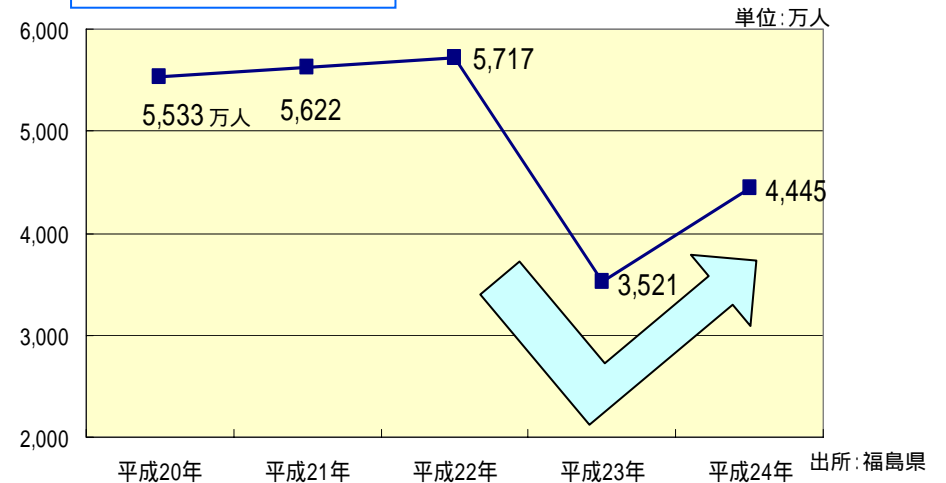
図出所:平成25年9月13日 福島県民友

観光産業の復興

観光産業の復興

平成24年度観光客数前年比**26.3%増**、震災前の8割まで回復
会津……大河ドラマ『八重の桜』効果で会津は9割超まで回復
いわき……主要観光施設復旧により、前年に対しほぼ倍増

県内の観光客入込数



東北六魂祭 平成25年6月1日、2日に開催

約25万人が来場

教育旅行 盛り返し

県内宿泊延べ人数 前年の約1.8倍

修学旅行などの教育旅行で県内に宿泊した県内外の小学生から大学生までの延べ人数が盛り返し

3. 復興に向けた動き(2) ~ 企業誘致・雇用確保 ~



企業立地補助金等の活用により**工場の新増設急増、雇用拡大**へ

企業誘致

工場の新増設急増、東北けん引

「**ふくしま産業復興企業立地補助金**」の効果により、工場の新増設が急増

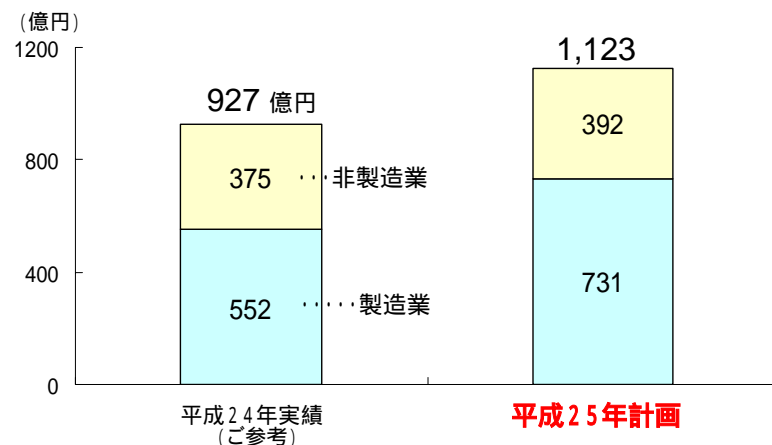
採択先363 / 採択金額1,912億円(平成25年7月)

県内の動き

補助金に加え「**ふくしま産業復興投資促進特区**」などが奏功し、
県外企業の進出・工場の新増設が続く
大規模な研究機関の進出

産業技術総合研究所、福島県医療機器開発・安全性評価センター

福島県 平成25年度 **設備投資計画**



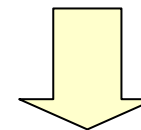
「**ふくしま産業復興企業立地補助金**」の効果

経済波及効果 3,103億円(福島県推計)

直接効果 約2,158億円(土地取得・工場建設等)

1次波及効果 約589億円(生産に伴う効果)

2次波及効果 約355億円(雇用所得の消費転換効果)



約4,500人分の雇用創出見込み

企業の新設

福島県 **新設法人増加率で全国1位**

平成24年度 福島県の新設法人増加率は前年比48.2%で
全国1位

県内の雇用動向

有効求人倍率 福島県は東北1位の1.25倍

復旧・復興事業や除染作業の追い風受け、建設業で高い水準

県内の有効求人倍率 1.25倍 (平成25年8月)

倍率は**全国6位、東北6県では1位**

3. 復興に向けた動き(3) ~ 成長分野への取組み ~



再生可能エネルギー導入や医療福祉機器産業等の集積に向けた着実な動きが見られる

再生可能エネルギー

エネルギー地産地消の取組み

「県再生可能エネルギー推進ビジョン」、「再生可能エネルギー先駆けの地アクションプラン」を策定
平成52年頃までに県内で必要なエネルギーの100%供給を目指す



(地熱イメージ)

柳津西山地熱発電所

柳津町・65,000KW・稼働中

木質バイオマス発電所

会津若松市・約5,000KW
稼働中

郡山市布引高原風力発電所

郡山市・66,000KW国内最大級
平成19年より稼働中



(メガソーラーイメージ)

福島空港メガソーラー

須賀川市、玉川村・最大出力1,200KW
県が建設・県民から出資を募るファンド活用
平成26年3月稼働予定

医療産業等集積

医療産業等集積への取組み

「ふくしま医療機器産業推進機構」が平成25年6月に発足
産業技術総合研究所…再生可能エネルギー研究開発拠点

福島県医療機器開発・安全性評価センター(仮称)

医療機器開発から事業者までの一体的支援を行う
平成27年開所予定・郡山市

産業技術総合研究所

平成26年4月開所予定・郡山市

森トラスト・エネルギーパーク泉崎

泉崎村・2,000KW
H25年8月より稼働中

木質専焼バイオマス発電所

白河市・12,000KW・稼働中

南相馬ソーラー・アグリパーク

南相馬市・500KWの太陽光発電所と
植物工場を備える
子ども達の職業体験プログラム
グリーンアカデミー事業も行う

浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」

広野町・楢葉町沖・最大出力2,000KW
世界初の浮体式洋上
風力発電設備
平成25年11月～
発送電の実証実験



(風力発電イメージ)

. 平成25年度中間決算の概要(単体)

1. 平成25年度 中間決算の概要

中間純利益は前年同期比**12億円の増益**となり当初業績予想を上回る水準

(単位:億円)

	25年度	24年度	増減	
	中間期(a)	中間期(b)	(a) - (b)	
経常収益(売上)	307	321	13	
業務粗利益	242	260	18	
資金利益	197	200	3	
役務取引等利益	34	26	+8	
債券関係損益	6	33	27	
経費	183	182	+0	
コア業務純益()	52	44	+8	
一般貸倒引当金繰入額	8	-	+8	
業務純益(営業利益)	50	77	27	
臨時損益	3	7	+11	
株式等関係損益	11	29	+40	
個別貸倒引当金繰入額等	5	0	5	
貸倒引当金戻入益	-	7	7	
経常利益	66	56	+10	
特別損益	0	1	+2	
税引前(中間)純利益	67	54	+12	
税引後(中間)純利益	46	34	+12	

平成25年度 中間決算のポイント

コア業務純益 ()銀行の本来業務で計上された利益
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券関係損益

貸出金・有価証券残高とも着実に増加したものの、市場金利のさらなる低下により、資金利益は前年同期比減少
 一方、**収益の柱**として着実に成長している**役務取引等利益**が**増加**したことにより、**コア業務純益**は**前年同期比増加**

株式等関係損益

株式市場の回復等により、**株式関係損益**が**大幅に改善**

信用コスト

経営支援の積極的な取組みにより、**信用コスト**は**低位推移**

経常利益、中間純利益

経常利益、中間純利益ともに**前年同期比増加**

通期業績見通し

通期業績については当初の見通しを**上方修正**

平成25年度中間期	
当初業績予想	達成率
60	111.2%

(ご参考)平成25年度通期 公表業績予想	
(修正前) 120	(修正後) 130

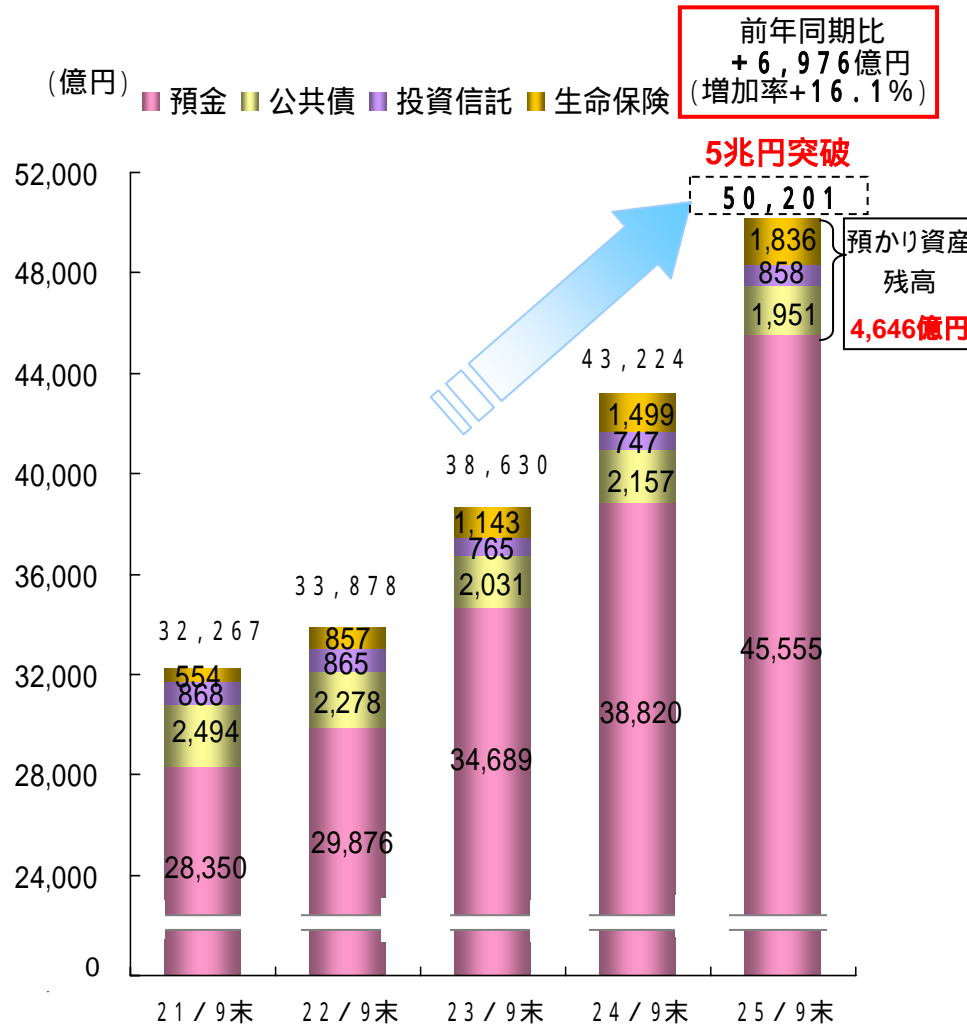
平成25年度中間期	
当初業績予想	達成率
35	134.0%

(ご参考)平成25年度通期 公表業績予想	
(修正前) 70	(修正後) 80

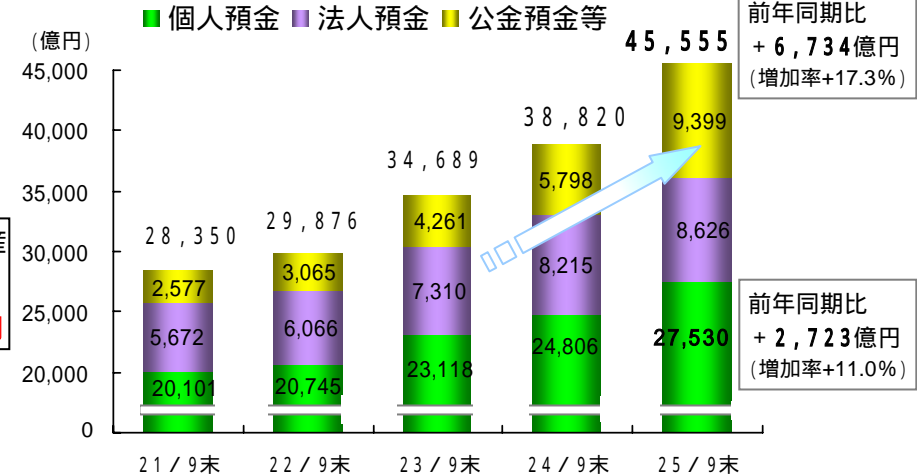
2. 総預かり資産の状況

総預かり資産残高は前年同期比6,976億円増加(増加率+16.1%)し5兆円突破。うち総預金残高も前年同期比6,734億円増加(増加率+17.3%)。特に個人預金残高は前年同期比2,723億円増加(増加率+11.0%)

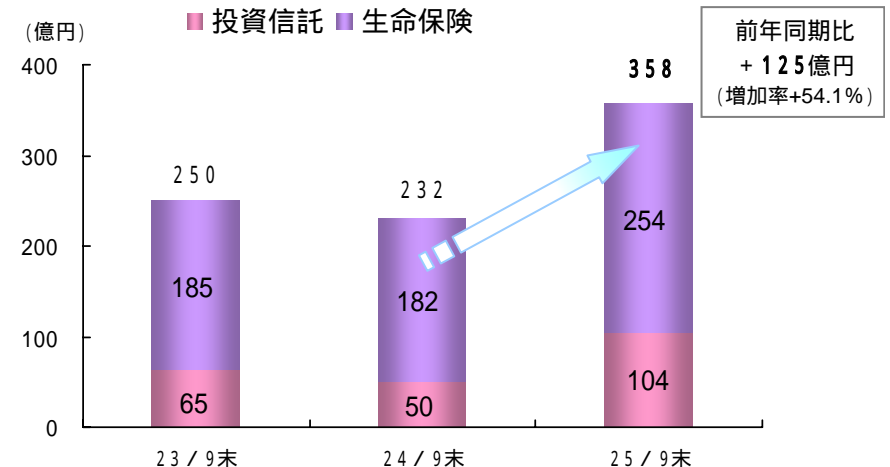
総預かり資産残高【預金+預かり資産】の推移



預金残高内訳の推移



金融商品販売額【投資信託+生命保険】の推移

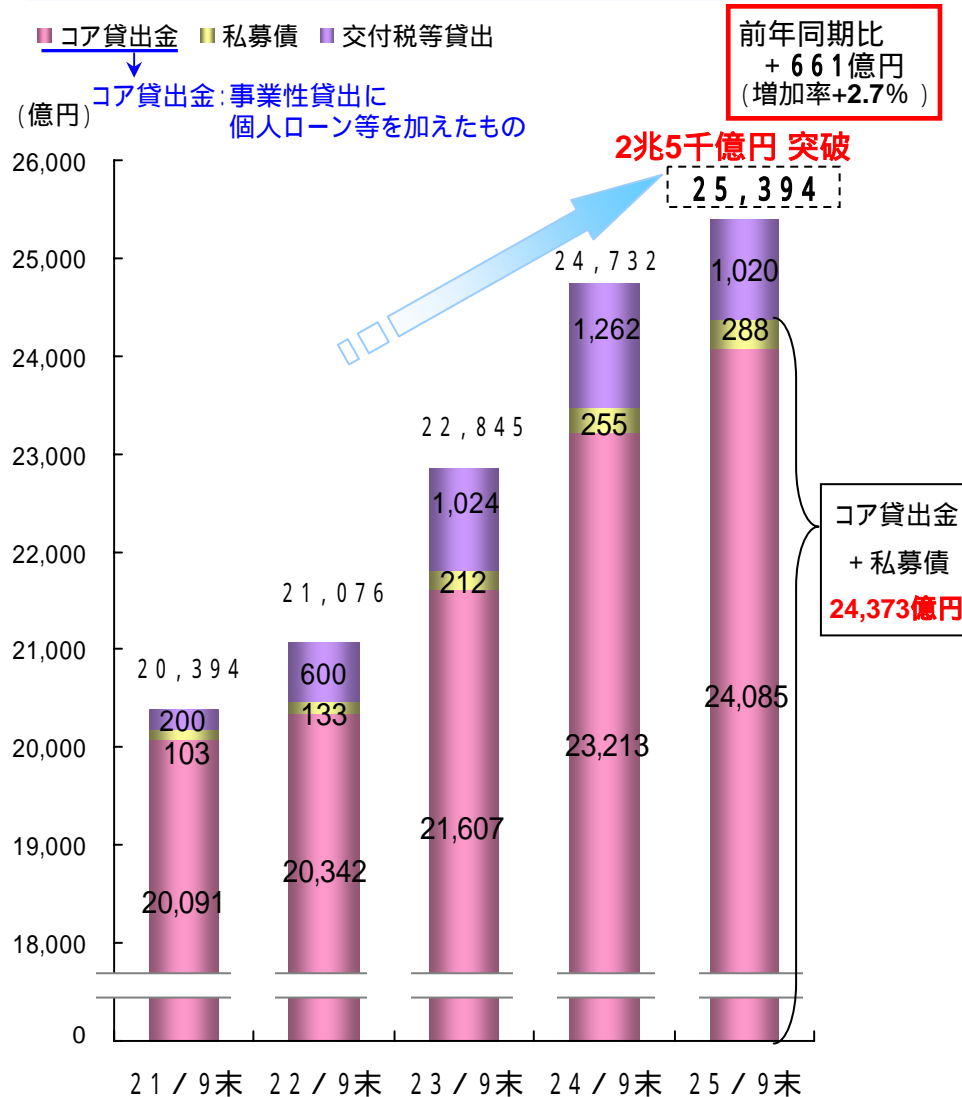


3. 貸出金の状況

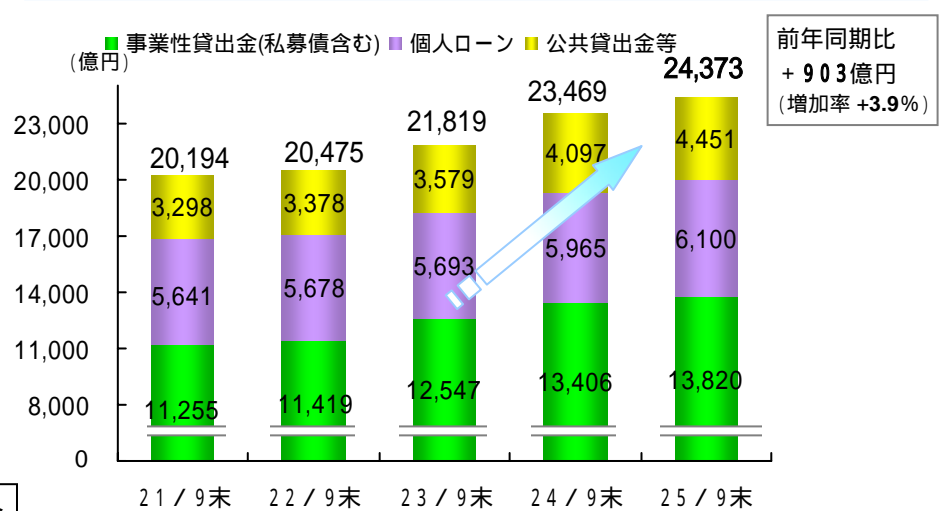
貸出金 + 私募債残高は前年同期比 661 億円増加 (増加率+2.7%) し、**2兆5千億円突破**

コア貸出金 + 私募債残高も前年同期比 903 億円増加 (増加率+3.9%)。個人ローン残高は**6千億円突破**

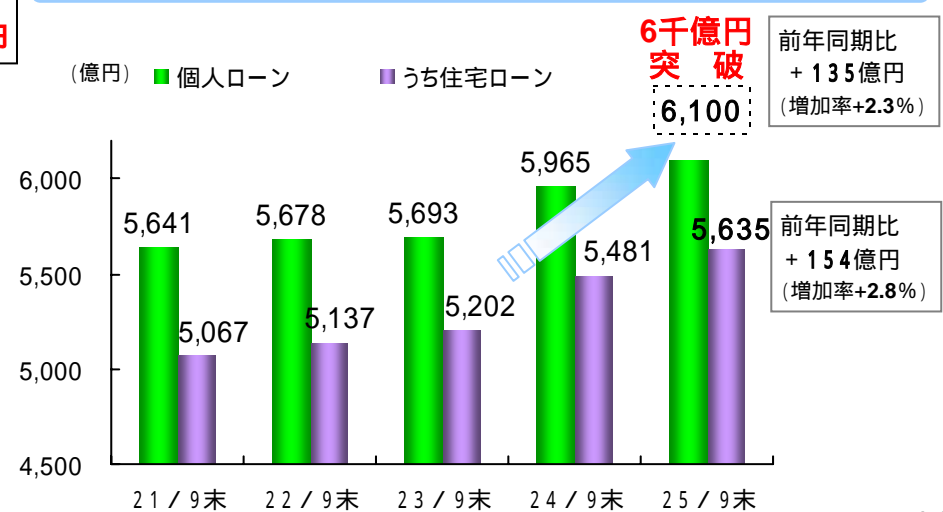
貸出金 + 私募債の推移



コア貸出金 + 私募債残高の推移



個人ローン残高の推移

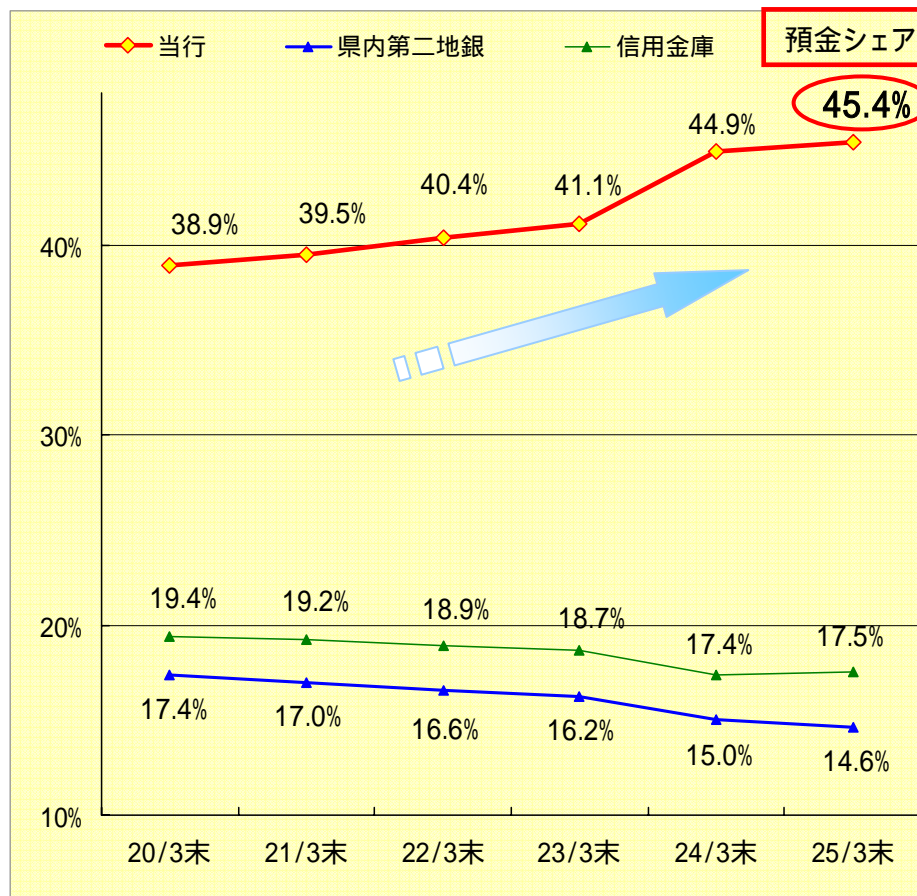


4. 福島県内の預金・貸出金シェア

福島県内の**預金シェア**は**45.4%**
 福島県内の**貸出金シェア**は**40.0%** ⇨ 私募債を含めた貸出金シェア **40.5% (推計)**

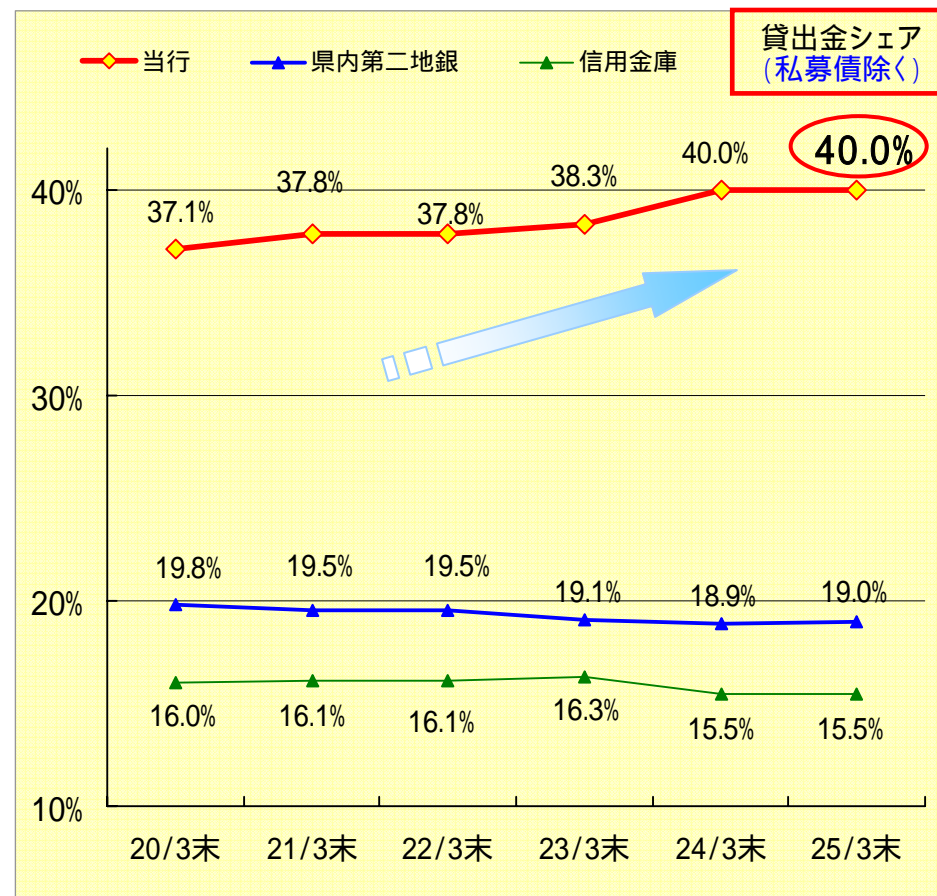
福島県内 預金シェアの推移

ゆうちょ銀行・農協を除く、本部預金含む、譲渡性預金除く



福島県内 貸出金シェアの推移

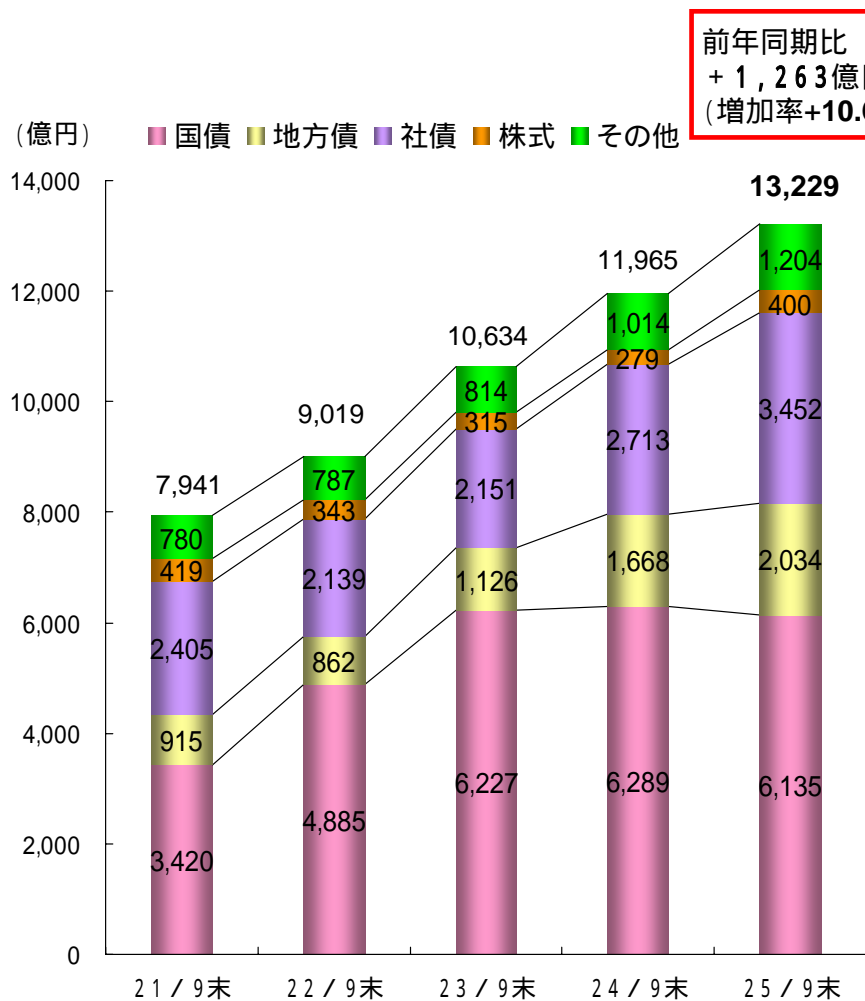
農協・政府系金融機関を除く、本部貸含む



5. 有価証券の状況

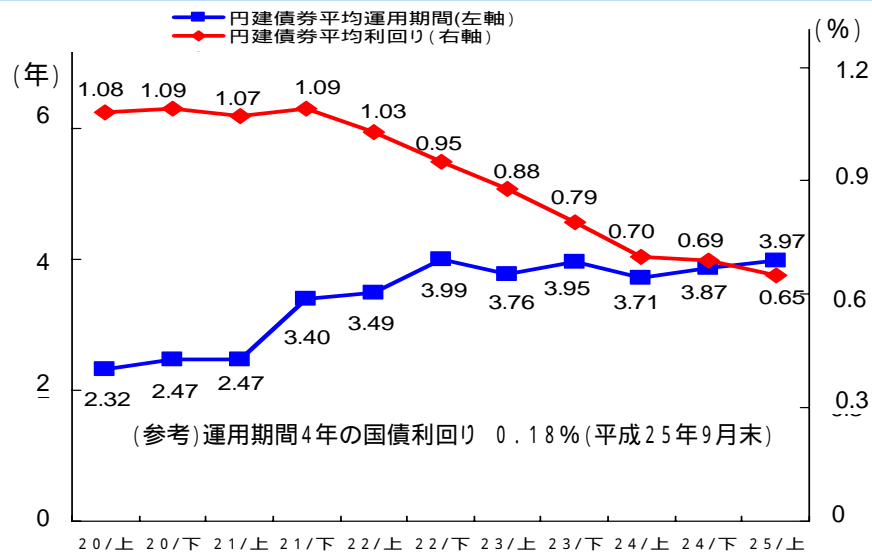
投資環境や市場動向を踏まえ、機動的な資金運用に努めた結果、前年同期比 1,263億円増加 (増加率+10.6%)

有価証券の構成推移

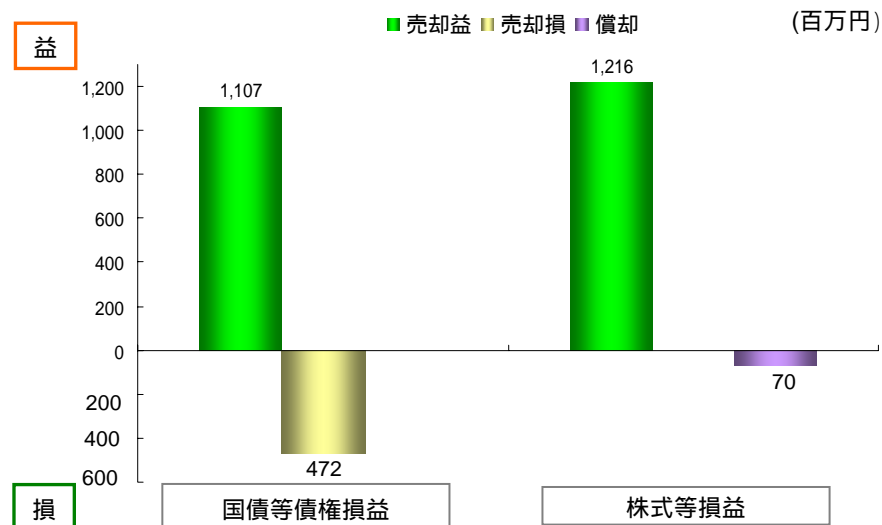


前年同期比
+ 1,263億円
(増加率+10.6%)

円建債券平均運用期間・利回りの状況



有価証券関係損益



6. 資金利益の状況

貸出金・有価証券の残高増加図るも、市場金利の低下を主たる要因として前年同期比 **3億円減少**

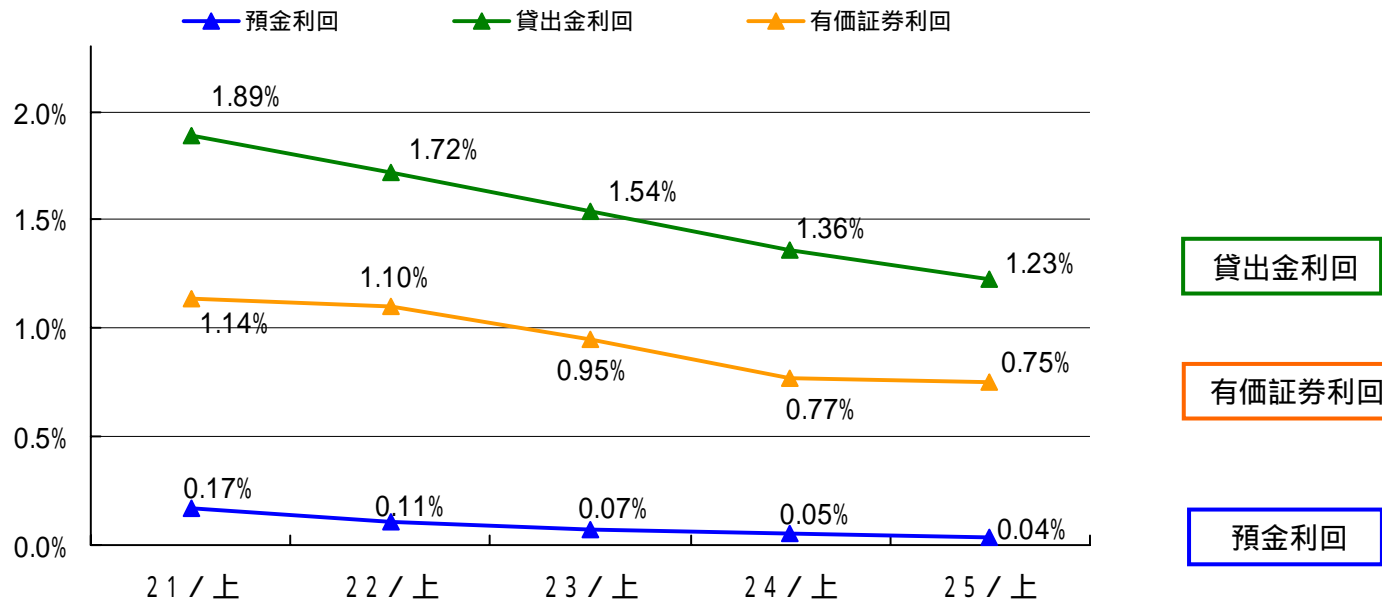
資金利益内訳

(上半期実績)

(単位:百万円)

	21 / 上	22 / 上	23 / 上	24 / 上(a)	25 / 上(b)	増減 (b) - (a)
資金利益	21,230	21,043	20,564	20,054	19,727	327
うち貸出金利息	19,336	17,933	16,917	16,637	15,356	1,281
うち有価証券利息	4,567	4,974	4,926	4,457	5,179	+722
うち預金等利息()	2,506	1,804	1,268	1,079	937	142

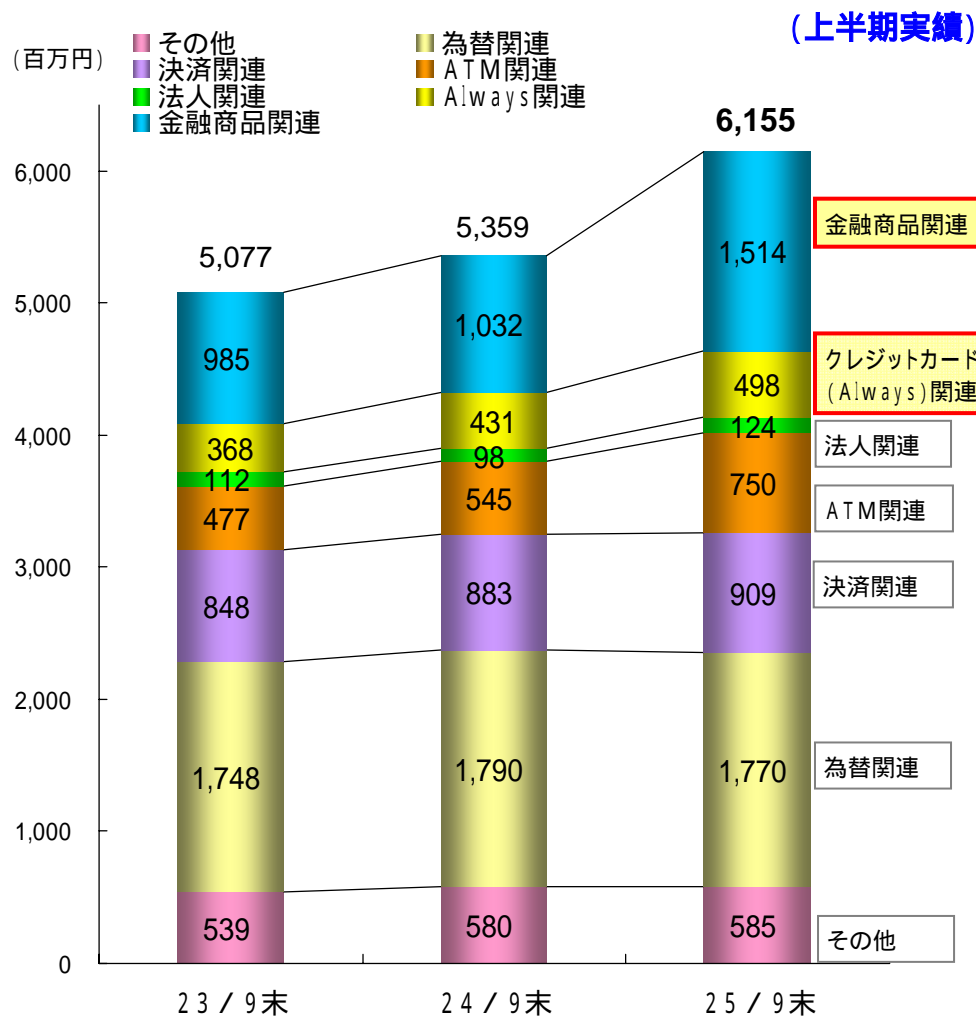
利回りの推移



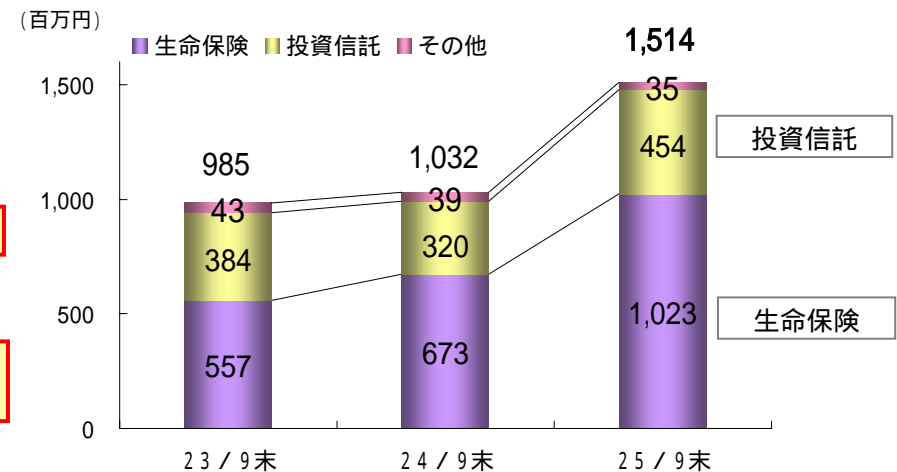
7. 役務取引等収益(手数料収益)の状況

預かり資産、クレジットカード手数料等の増加により、前年同期比 **8億円増収**

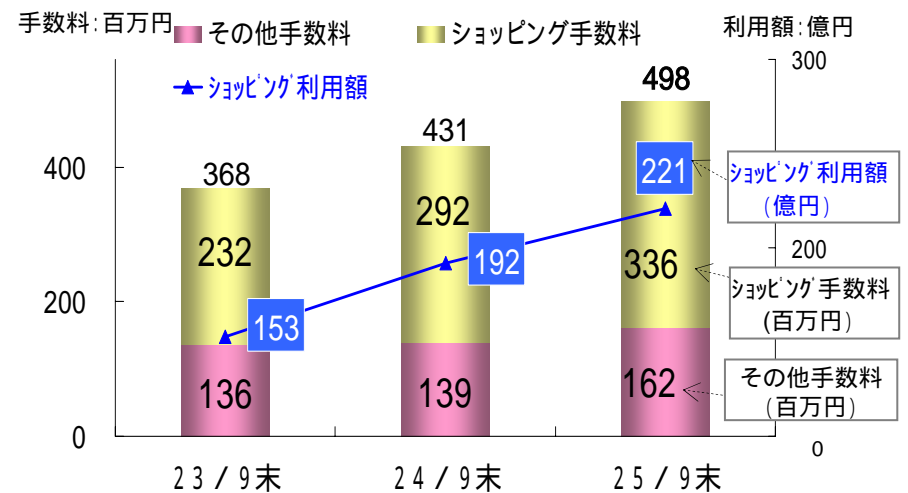
役務取引等収益の推移



金融商品関連手数料の推移



クレジットカード(Alwaysカード)関連手数料の推移

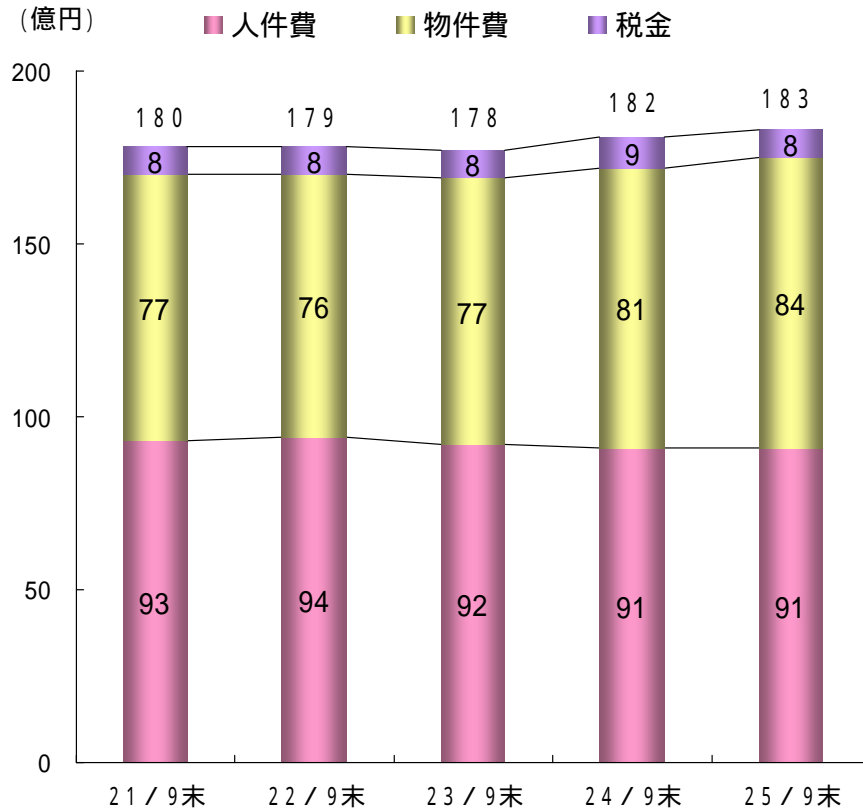


8. 経費の状況

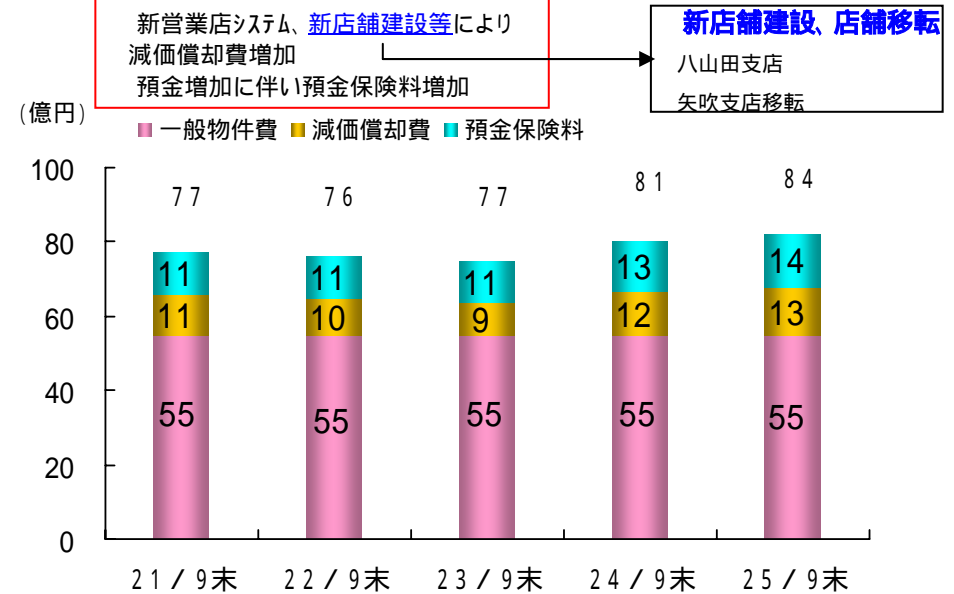
経費は新営業店システムなど大型投資を実施したものの前年同水準

経費の推移

(上半期実績)



物件費の推移



職員数の推移

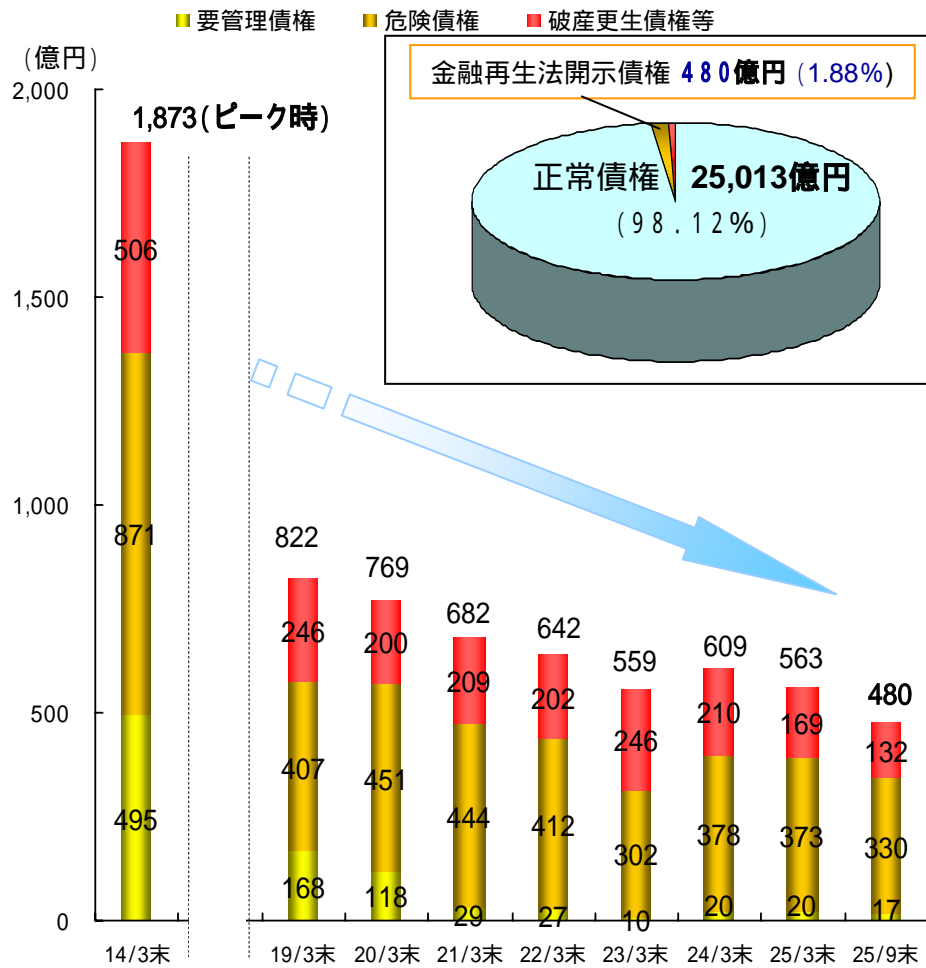
(人)

	21/9末	22/9末	23/9末	24/9末	25/9末
職員数	2,020	2,038	2,042	2,021	2,015

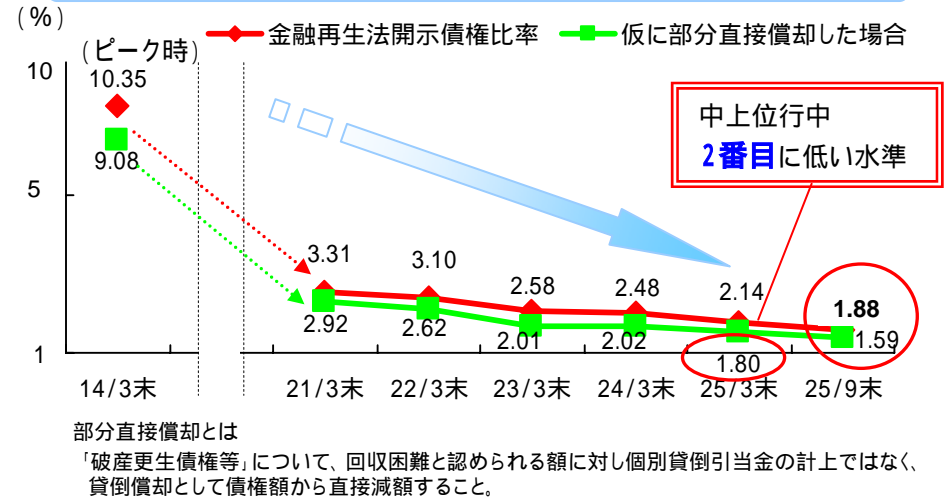
9. 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率は1.88%まで低下(部分直接償却を実施した場合は1.59%) いずれも2%を切る低水準

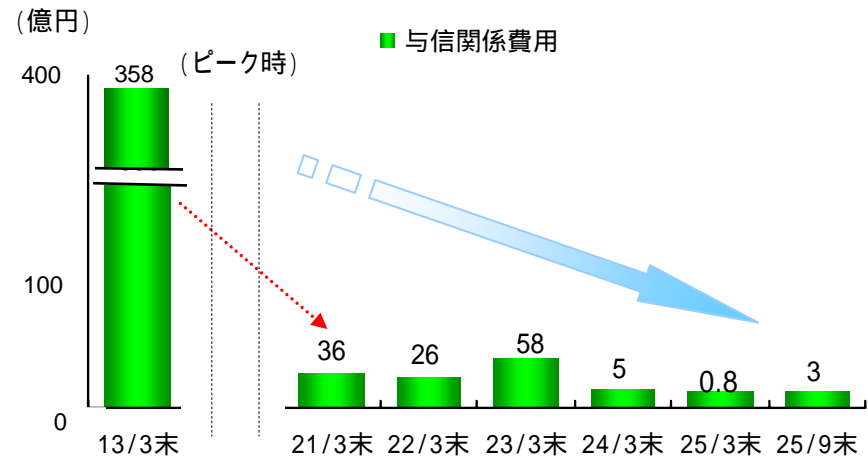
金融再生法開示債権の推移



金融再生法開示債権比率の推移



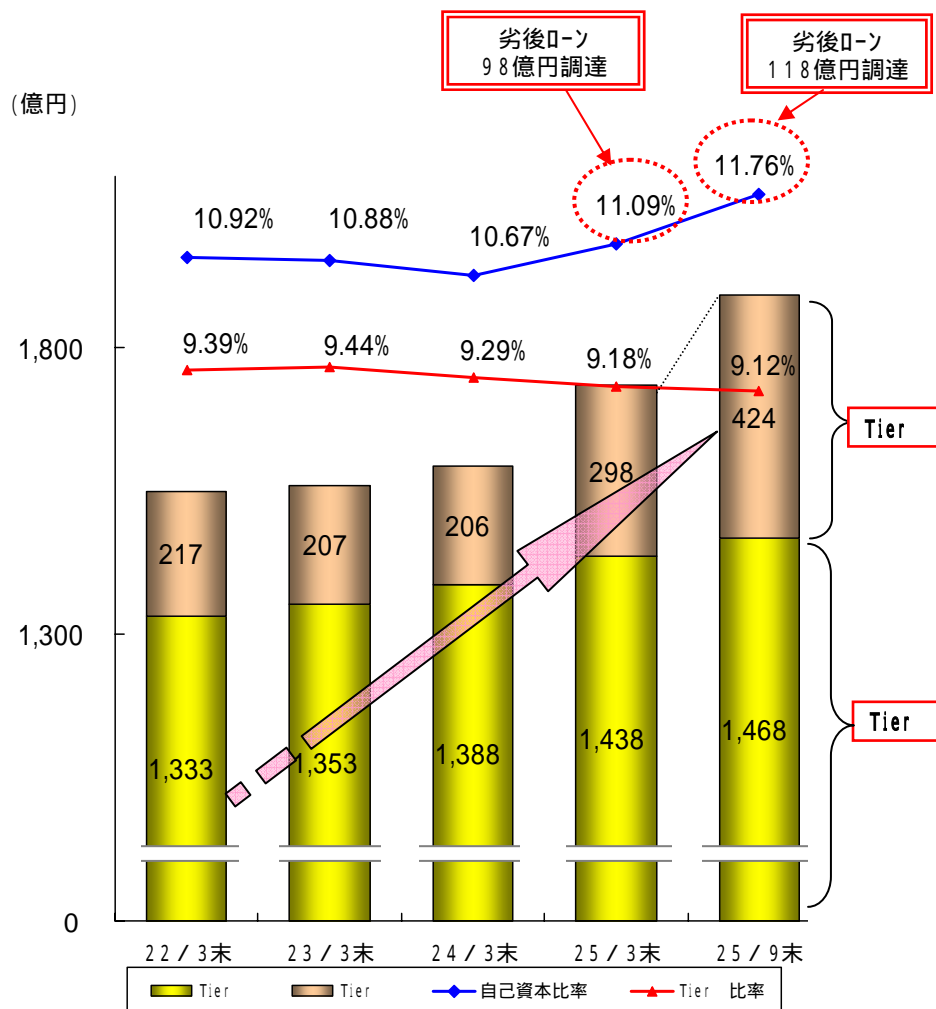
与信関係費用の推移



10. 経営の健全性

貸出金の増加を背景とした資産の大幅な増加により、リスクアセット(各種調整後の総資産)は増加
内部留保の積上げに加え、劣後ローンの調達により自己資本比率は平成25年3月期比0.67ポイント上昇し11.76%

自己資本比率の推移(単体)



自己資本の推移(単体)

	25/3末	25/9末	増減
自己資本 (A)	1,736	1,892	+155
中核的自己資本 Tier (B) (資本金、剰余金等)	1,438	1,468	+29
補完的自己資本 Tier (劣後社債、劣後ローン、 一般貸倒引当金等)	298	424	+125
リスクアセット (C) (各種調整後の総資産)	15,657	16,083	+425
自己資本比率 $(\frac{A}{C})$	11.09%	11.76%	+0.67%
中核的自己資本の比率 (Tier 比率) $(\frac{B}{C})$	9.18%	9.12%	0.06%

現行の自己資本比率規制の水準(国内基準行は4%以上)
を十分上回る
バーゼル の国内基準適用後も、十分な自己資本比率を
確保できる見通し

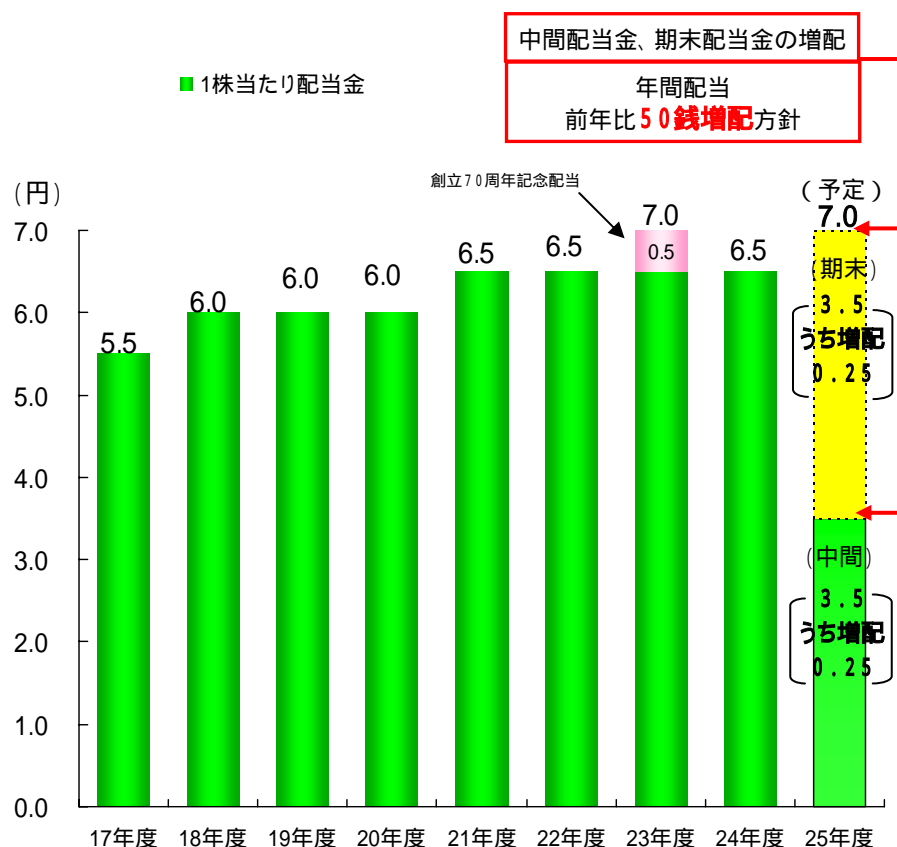
11. 株主の皆さま方へ

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さま方へ利益を還元

25年度中間配当 …… 中間期業績の結果を踏まえ、**中間配当金**は前年比**25銭増配**の1株当たり**3円50銭**

年間の配当金 …… **期末配当金**(予定) **3円50銭**(前期比+25銭)と合せ、**年間の配当金**を**7円**(前期比+50銭)とする予定

1株あたり配当金



株主優待の拡充

株主優待定期預金

1年もの定期預金(預入金額 10万円以上300万円以内)に

0.3%の金利上乘せを実施

【取扱実績】(平成24年9月末)3,099件 / 6,715百万円
(平成25年9月末)3,349件 / 7,458百万円

福島県宿泊施設ご優待(平成25年7月より新設)

保有株式数に応じて、福島県内の宿泊施設でご利用いただける
「福島県宿泊施設ご優待券」を進呈

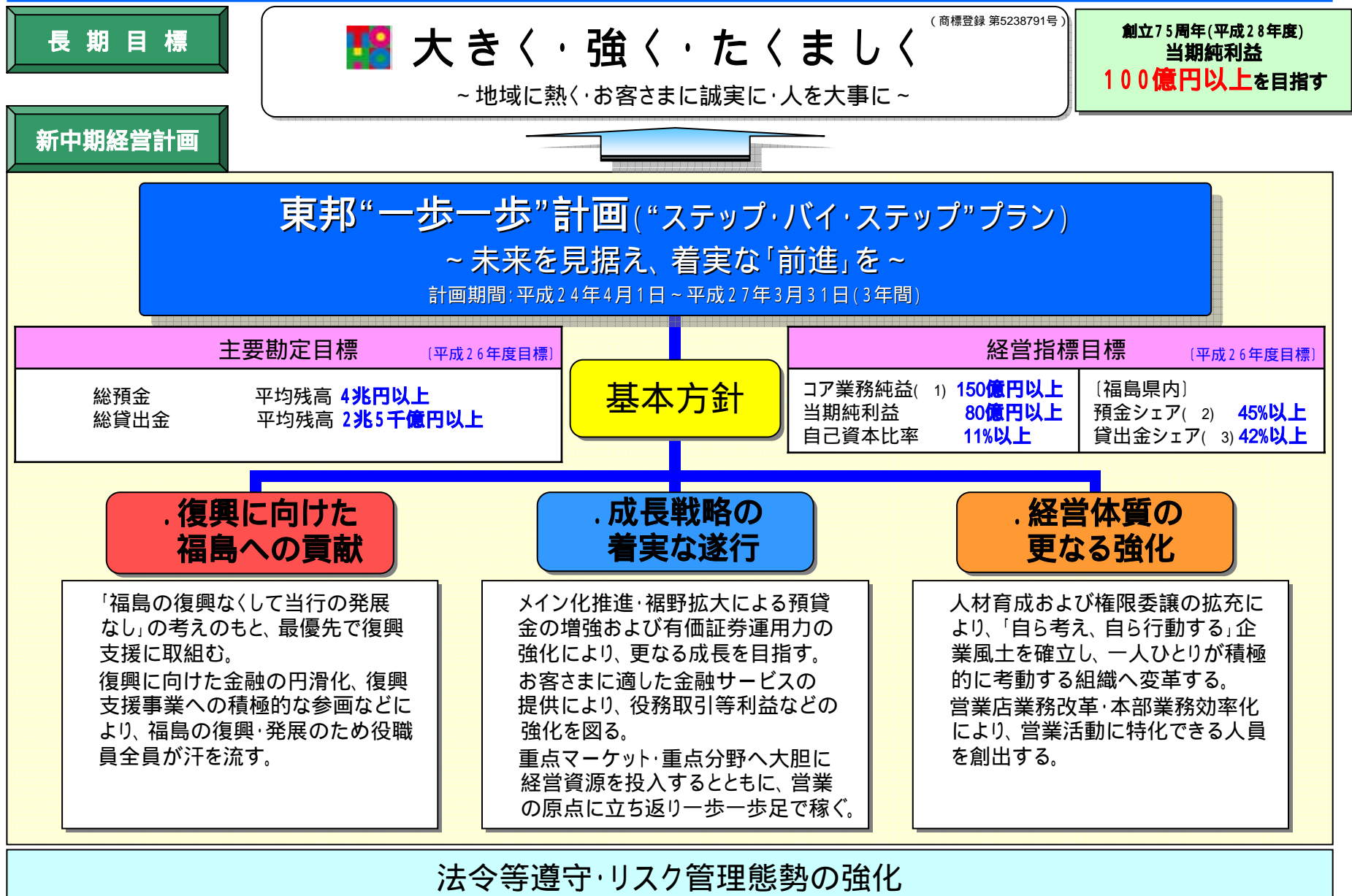
保有株式数	ご優待券種
1,000株以上5,000株未満	2,000円
5,000株以上	5,000円

【株主優待制度の対象となる株主さま】

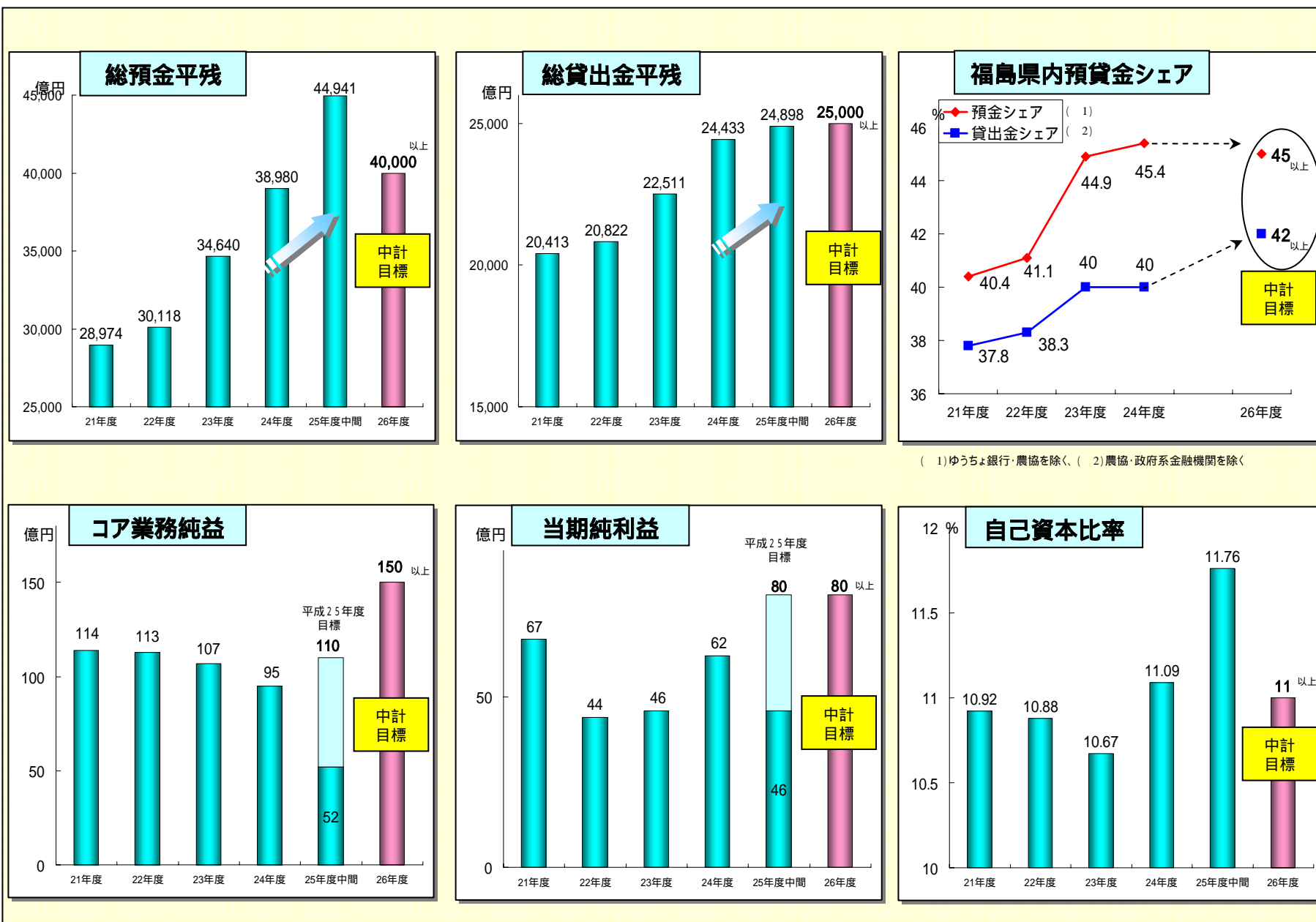
毎年3月31日現在で当行株式を1,000株(1単元)以上お持ちの株主さま

中期経営計画 「東邦“一步一步”計画」

1. 中期経営計画の概要



2. 主要勘定目標、経営指標目標



3. 復興に向けた地域への貢献

(1) 復興資金の提供による地域への貢献

震災および原子力災害で被災されたお客さまを支援するため、復興資金需要に対し積極的に対応

震災対策資金

震災関連制度資金の活用

東日本大震災後、福島復興支援を最優先課題として、震災関連融資に積極的に対応

累計実行状況(平成25年9月末現在)

事業性

	累計
件数	4,085件
金額	967億円

個人ローン

「東邦 災害復旧対応ローン」

	累計
件数	479件
金額	6.4億円

震災関連商品

東邦災害復旧対応ローン
東邦リフォームローン(無担保型)改訂



東邦・復興支援私募債

累計実績 98件 / 102億円

復興支援ファンド

「ふくしま応援ファンド」

県内企業の復興を支援するため、日本政策投資銀行との共同出資により設立

ファンド総額 50億円

投融资累計実績 10件 27億5千万円

「東日本大震災中小企業復興支援ファンド」

大和企業投資株式会社が設立した同ファンドに出資参加被災地域の未上場企業に対し、機動的にリスクマネーを供給

ファンド総額 88億円

ファンド出資状況一覧 うち当行出資総額 56億円(約束額)

ファンド名	ファンドの種類	その他主な出資者	ファンド総額
東北インキュベーションファンド	株式未公開会社支援	当行、日本政策投資銀行 東北地銀	31.8億円
東北グロスファンド	同上	当行、日本政策投資銀行 東北地銀	35.8億円
うつくしま未来ファンド	事業再生支援	当行、中小機構 県内金融機関	30億円
福島産業復興機構	同上	当行、中小機構 県内金融機関	100億円
ふくしま地域産業6次化復興ファンド	成長分野支援	当行、農林機構 県内金融機関	20億円
ふくしま応援ファンド	経営支援	当行、日本政策投資銀行	50億円
東日本大震災中小企業復興支援ファンド	同上	当行、中小機構 青森、岩手、七十七銀行	88億円

当行独自のファンド

ファンド名	ファンドの種類	ファンド総額
とうほう次世代創業支援ファンド	経営支援	10億円

3. 復興に向けた地域への貢献 (2) 復興支援事業への参画

地域の復興、経済の活性化に資するさまざまな取り組みを実施

「食」関連商談会等の開催による販路開拓支援

展示・商談会・観光PRイベントを主催、共催

商談会	主催者	開催地	年月	前回出展数	今回出展数
地方銀行フードレクシオン2013	地方銀行フードレクシオン実行委員会	東京都内	10/21 ~ 10/22	約600社	約600社 (うち当行取引先27社)
ふくしまフードフェア2013	当行	郡山市	11月12日	96社	122社

復興支援通販事業を企画・協賛

県内事業者の販売支援を目的に通販事業を企画・協賛
通販事業開始以降の総売上実績

80千個 / 2億6千万円



地域の復興に向けたビジネスマッチングの取り組み

経済産業省「地域経済産業活性化対策費補助金」を活用した「とうほう・ビジネスマッチング」を企画・展開

参加企業 **14社**

ビジネスマッチング実績(平成25年度9月末)

情報提供件数116件、成約件数30件

地方自治体との連携による地域活性化への取り組み

地方自治体との連携を強化

締結日	締結先	協定内容	主な内容
H24.12.19	福島県	包括連携	再生エネ、医療福祉機器等の集積等
H25.3.18	矢吹町	産業振興・防災	産業集積、農業振興等
H25.8.6	郡山市	包括連携	産業集積、地域産品・観光振興等
H25.8.7	伊達市	包括連携	産業集積、地域産品・観光振興等
H25.8.19	福島市	包括連携	産業集積、地域産品・観光振興等
H25.9.2	白河市	包括連携	産業集積、地域産品・観光振興等

6次産業化推進に向けた取り組み

第一次産業振興・地域活性化のため6次産業化推進をサポート

「ふくしま地域産業6次化復興ファンド」への出資参加

出資総額20億円(金融機関出資額8億円のうち当行は4億円を出資)

名称	ふくしま地域産業6次化復興投資事業有限責任組合 (愛称:ふくしま地域産業6次化復興ファンド)
組成の目的	農林漁業者の所得の向上と地域産業としての雇用創出に寄与する事業を育成する地域産業6次化推進
ファンド運営者	福島リカバリ株式会社
出資者・出資額	当行:4億円、みずほコーポレート銀行:2.5億円、福島県:2億円、地元金融機関計1.5億円
投資対象	6次産業化法の認定を受けた事業者
組合の存続期間	15年間

「東邦・6次産業化セミナー」の開催

県農林水産部と連携。セミナー終了後、個別相談会を開催
6次産業化のポイントや「ふくしま地域産業6次化復興ファンド」の活用方法等を紹介

参加者 **320名**

3. 復興に向けた地域への貢献

(3) 経営改善支援・事業再生支援の取組み

金融円滑化法期限到来後も、貸出条件変更等や円滑な資金供給に取組み金融仲介機能を発揮

資本性借入金(DDS)の取組み

積極的な活用

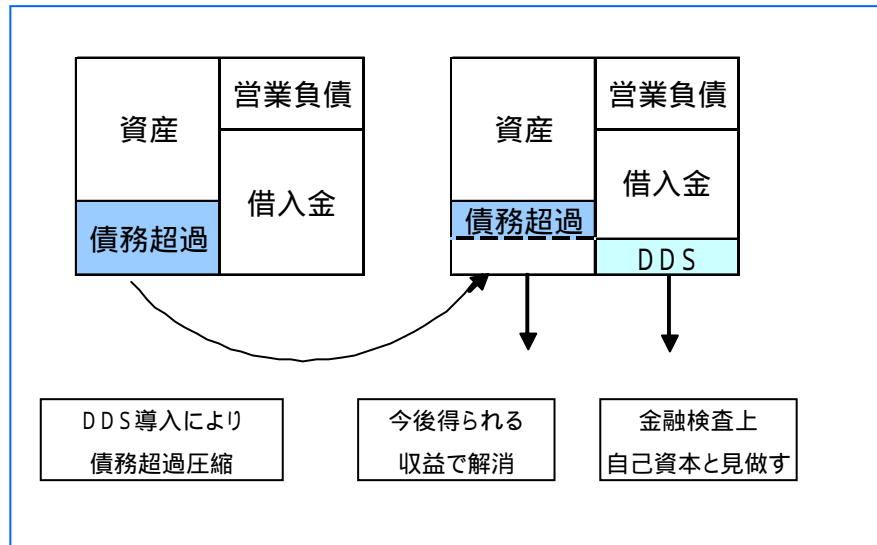
早期の財務改善・経営支援を支援するスキーム、
震災による被害を受けたお客さまの復興支援策として
積極的に活用

震災復興支援のため運用が弾力化

DDSを自己資本と見做すことにより財務内容が改善される
累計実績(平成25年9月末)

6件 / 11億5千万円

資本性借入金(DDS)スキーム図



事業再生支援の取組み

事業再生支援体制の充実

「金融円滑化推進室」(融資部・融資管理部・ローン事業部・法人営業部)
22名態勢で設置

警戒区域内の6店舗 業務を事務センターに集約し、取引先を支援、
被災されたお客さまのご相談に対応

事業再生支援の実績

これまでに、**45社、対象与信額758億円**の事業再生を実施
6千名以上の雇用が確保されている

事業再生の実績(平成13年度～25年度上期)

(先、人、億円)

	企業数	従業員数	与信額
支援協議会	13	1,016	133
地域経済活性化支援機構	3	1,411	114
その他私的再生	24	2,433	303
法的再生	5	1,622	208
合計	45	6,482	758

外部機関との連携強化

随時、債権買取等で事業者の再生を支援

福島産業復興機構(平成23年12月設立)

当行は950百万円出資、「**福島県産業振興センター**」に人員派遣

東日本大震災事業者再生支援機構(平成24年3月設立)

機構との緊密な連携を図り、積極的な活用を図っている

個人版私的整理ガイドライン運営委員会(平成23年8月に発足)

相談体制を整備し、積極的な周知活動を実施。当行も人員を派遣

4. 成長戦略の着実な遂行 (1) 新たな資金需要への取組み

多様な金融支援施策を活用し新たな資金需要に対応

資金調達・企業戦略支援

動産担保融資(ABL)の取組み

不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資手法である

動産担保融資(ABL)を積極的に活用

ABL有資格者(動産評価アドバイザー)5名を本部専門

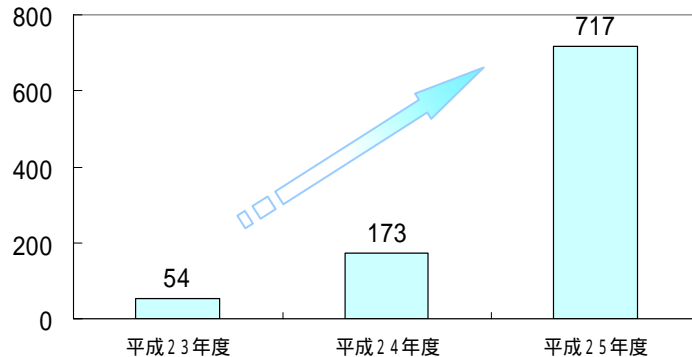
部署に配置し、お客さまへきめ細かに対応

融資事例

衣料品、肥育豚、車輛、売電債権等

ABL実行金額 (平成25年9月末現在)

(百万円)



私募債

累計実績 **440件 / 502億8千万円**

平成25年9月末 残高 **299件 / 288億5千万円**

「東邦・復興支援私募債」、「東邦・環境私募債」等の引き受け

事業承継支援の取組み

自社株評価や事業承継スキームのご提案、M & Aに

関するアドバイス **年間相談受付件数 約250先**

成長分野への資金提供による支援

企業立地支援への取組み

「ふくしま産業復興企業立地補助金」にかかる情報提供、資金提供
実績 **89件 / 206億円** (平成25年9月末)

「復興特区支援利子補給金制度」利用促進の取組み

円滑な事業実現に向け、採択先へ積極的に資金提供

実績 **9件 / 47億円** (平成25年9月末)

PFI(Private Finance Initiative 「民間主導の公共事業」)

の取組み

累計実績

件数	実行金額合計	分野
5件	110億円	文化交流施設、病院、官庁、官舎、大学

再生可能エネルギー分野への取組み

再生可能エネルギー関連分野への融資実績累計 (百万円)

種類	件数	当初実行金額
太陽光	26	6,257
風力	2	4,482
バイオマス	1	2,300
小水力	1	73
合計	30	13,112

医療産業支援

「東邦・医療福祉機器関連産業事業者ローン」創設
福島県内医療法人 **65先**、介護事業者 **229先**に対し
経営課題提案型営業を推進

4. 成長戦略の着実な遂行 (1) 新たな資金需要への取組み

「海外事業支援室」により、海外での事業展開を積極的に支援

貿易相談・海外進出支援

【連携・業務提携先一覧】

支援体制の強化

海外銀行や各種専門家と積極的に業務提携を実施

平成24年2月以降、**14先と業務提携**

メガバンクやジェットロ等への人材派遣を通じて
ノウハウを蓄積

平成20年4月以降、**海外派遣者実績 6名**

金融面サービスの拡充

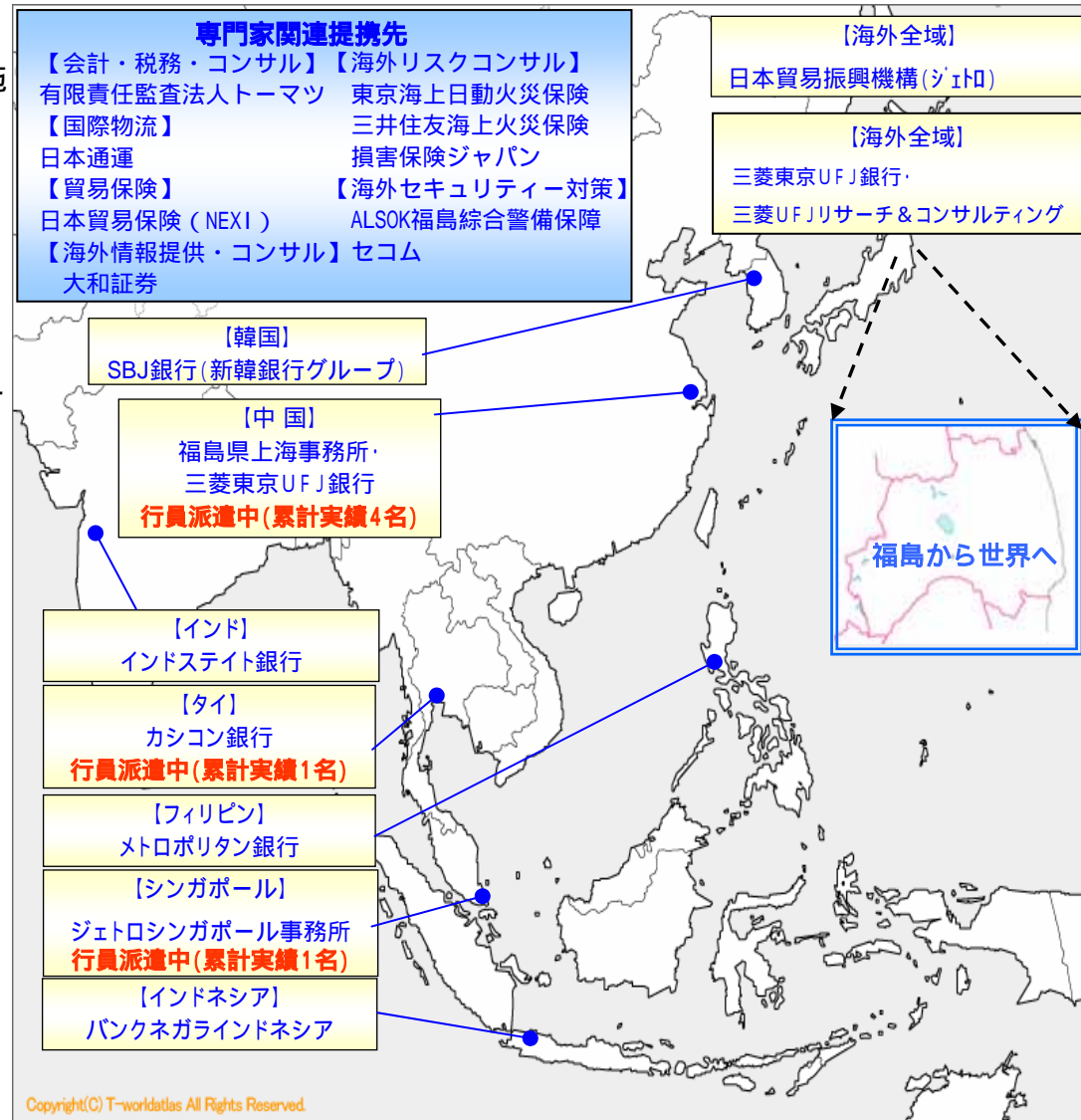
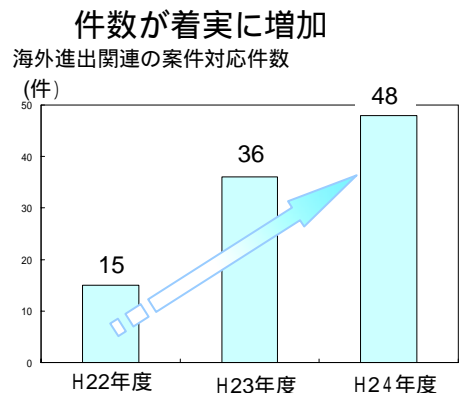
輸入の決済代金、海外進出資金等への資金手当て
海外現地法人向け直接融資の対応

お客さま向けセミナーの開催

「東邦海外事業支援セミナー」

平成25年7月開催 参加者 **51名**

海外事業支援室相談案件

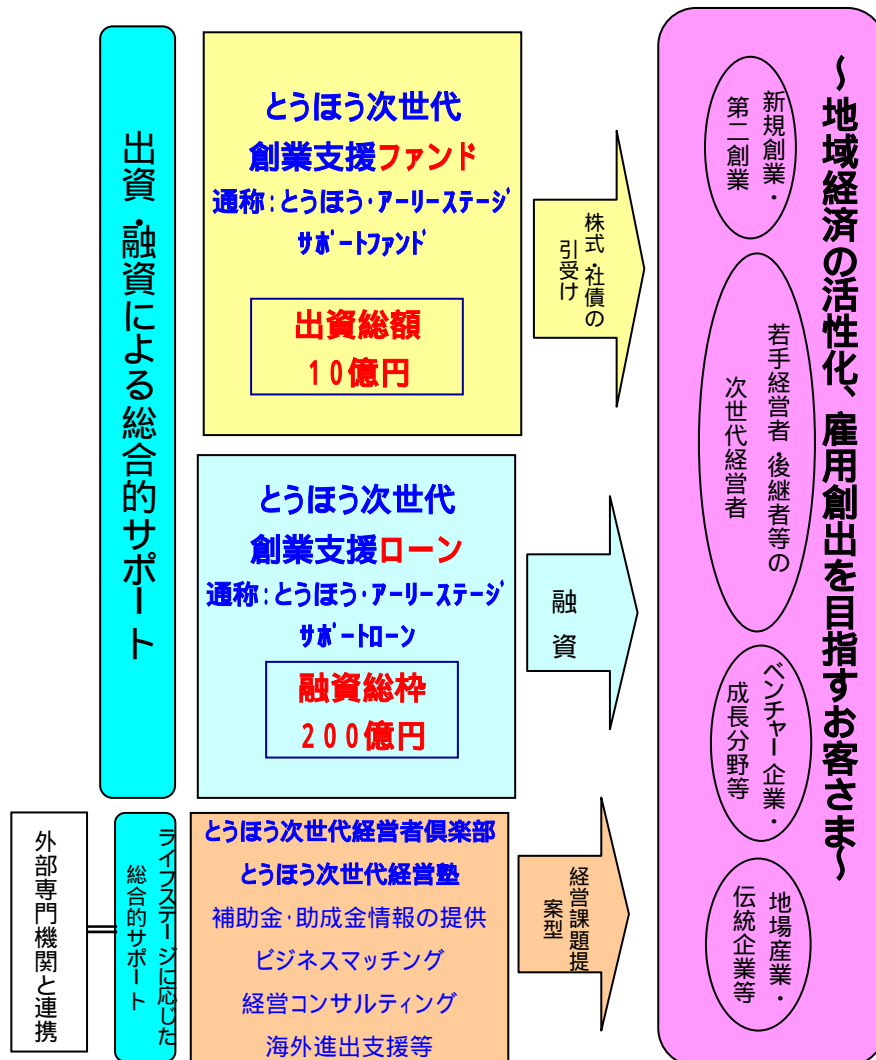


4. 成長戦略の着実な遂行 (1) 新たな資金需要への取組み

創業、第二創業に取組む次世代経営者等のお客さま、成長分野関連企業、ベンチャー企業等のお客さまを支援

次世代経営者・創業支援

お客さま支援体制のイメージ



ライフステージに応じた総合的サポート

復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」
次世代経営者相互の人脈づくりと復興に向けた情報の提供、経営者の皆さまの経営者としてのスキルアップを支援する目的で創設

会員数

平成25年9月末 **600名**



若手経営者向け実践講座「とうほう次世代経営塾」創設
次代を担う「若手経営者」や「後継者」等を対象に、経営に関する実践講座を開催

とうほう次世代経営塾 第一期生

32名(うち女性4名)

開催形式

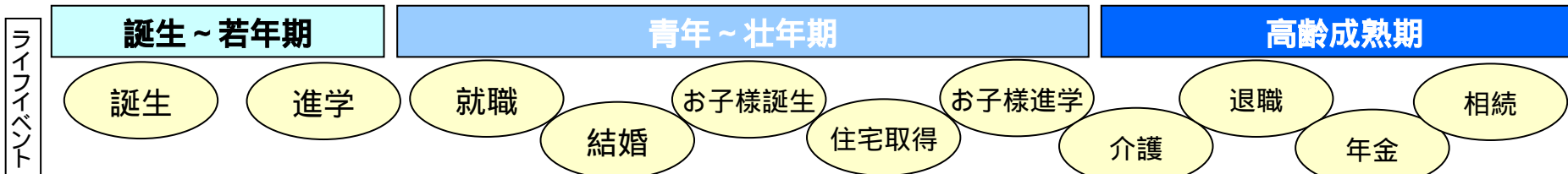
事業戦略、財務管理、マネジメント、自社アクションプランの作成等に関するテーマ年8回の実践講座を開催



4. 成長戦略の着実な遂行


(2) ライフイベントに応じた商品・サービスの提供

人生のライフイベントに対応する商品・サービスを展開
マーケティング活用によるお客さまのニーズを捉えた営業推進を展開




「あつまれ、元気なふくしまっ子」

18歳以下のお客さま
新規口座開設でミニ
タオルかぬいぐるみ、
どちらかをプレゼント
取扱実績
(平成25年10月末現在)
15千件



「未来・ふくしまっ子」

「租税特別措置法」
に基づく教育資金
専用口座
取扱実績
(平成25年10月現在)
102件 779百万円



写真付普通預金通帳


平成25年
10月より
取扱開始



「Alwaysカード」


取扱開始5年間で25万会員を達成
現在26万会員

「Alwaysカード」
『キャッシュカード』機能と『クレジット』機能
をあわせ持ったカード
ICチップ搭載でセキュリティにも優れている




スーパー住宅ローン「プラス5」

マイホームの「新築・購入」「リフォーム」
「借換え」プランをご用意
住宅資金の100%、諸費用や他のローンのおとりまとめも最大500万円までプラスご融資



**住宅ローンご利用者さま向け
カードローン「あんしんプラス」**

平成25年4月より取扱い開始




**「東邦・フリーローン」の改訂
(フリーローン限度額拡大)**

「東邦・フリーローン(有担保型)」創設

休日ローン相談会の開催

**「東邦NISA(少額非課税制度)
スタートキャンペーン」**

平成26年1月取扱開始を
前に、スタートキャンペーンを
実施




相続専用定期預金

「とうほう・想いのかけはし」

相続により引き継がれた大切
なご預金をお預入れいただく
際に、金利を上乗せする商品

金利 3ヶ月 年0.5%
6ヶ月 年0.3%

取扱実績
(平成25年10月現在)
102件 1,270百万円



休日資産運用相談会の開催

合同運用指定金銭信託の販売

「福島復興へのかけはし」110億円完売
「福島復興へのかけはし」130億円即日完売
当行向けの劣後特約付貸出金を
主たる運用資産とする金銭信託を販売
(全国で3番目、東北地銀で初の取組み)

4. 成長戦略の着実な遂行 (3) マーケットへの迅速な対応

変化するマーケットに迅速に対応した店舗・チャネル戦略を展開

店舗戦略

次世代型店舗【北福島支店、八山田支店、矢吹支店】

「利用しやすく」、「親しみやすい」をコンセプトに、高齢者や障がいのあるお客さまにも配慮した店舗デザイン



【キッズコーナー】



【総合受付】



お客さまの利便性向上

土・日営業実施店舗拡大

八山田支店に加え、北福島支店、いわき鹿島支店で預金業務等を含む土・日営業開始

ローン専門店の休日の営業時間拡大

< 変更前 > < 変更後 >
10時～ 9時～



ハローサービスセンターの土・日受付開始

電話による住所変更や資産運用相談など、平日に加え、土・日も受付

ATM戦略

移動ATM車「ふるさと・ふくしま号」【「ふるさと・ふくしま号」】

不測の事態においても金融サービスの提供を維持できる体制を整備
県内外に避難されているお客さまへ利便提供



利便性向上に向けた

ATMサービスの展開

通帳繰越機能付ATMや
インスタ型ATMを積極的に展開
自行ATM利用手数料無料化

「いつでも」「だれでも」「何回でも」

地方銀行とのATM提携拡大
(平日日中のATM利用手数料無料化)

提携行: 13行 (平成25年10月現在)



IT・チャネル戦略

情報タブレット端末の導入

お客さまへの提案活動に優れた情報収集機能を持ち合わせた「情報タブレット端末」を導入



5. 経営体質の更なる強化

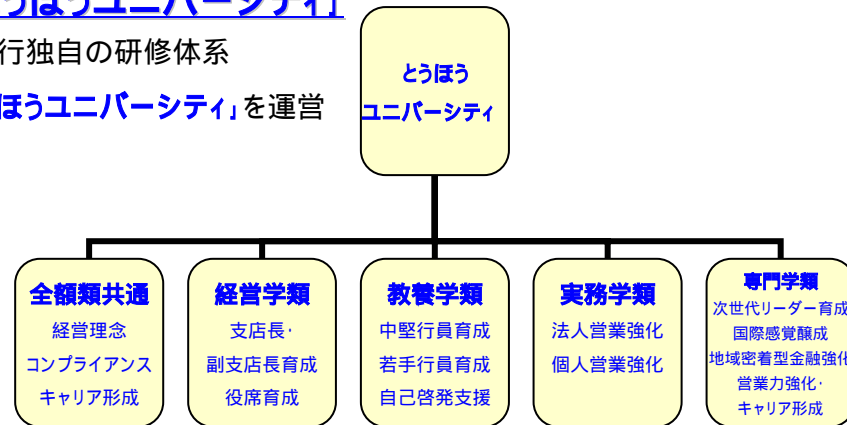
経営体質の更なる強化に向けた人材育成と活躍支援のさまざまな取組みを展開

人材育成の強化

「とうほうユニバーシティ」

当行独自の研修体系

「とうほうユニバーシティ」を運営



行内研修・行外研修・休日セミナーを開催

(平成24年度実績)

(人)

(平成25年度9月末実績)

(人)

	講座数	受講者数		講座数	受講者数
行内研修	150	2,011	行内研修	71	1,462
行外研修	104	190	行外研修	55	93
休日セミナー	20	765	休日セミナー	11	1,080

行外派遣研修等への積極的な派遣

派遣数は地方銀行トップクラス 毎年200名以上派遣

業界団体等への派遣実績

地方銀行協会研修への派遣・留学
メガバンク等他行への派遣・留学
地公体・民間団体等への派遣・留学

[当行独自海外研修(米国)]



当行独自海外研修(米国)を継続実施

毎年15名～20名派遣

多様な人材の活躍支援

女性役職員の活躍支援

女性を営業店長、管理職に積極的に登用

平成25年10月現在 **女性役席者102名**、**女性役席者比率8.6%**

ワークライフバランス支援策を実施

[女性活躍推進プロジェクト]

福利厚生制度の充実

主催『ハートフルセミナー』

女性活躍推進プロジェクトの活動継続

平成21年より立ち上げ、10月より

第5期の活動がスタート

女性目線での商品・サービス・各種

制度等の充実に向けた提案を行っている



「株式会社 とうほうスマイル」

障がい者が中心に働く特例子会社を平成24年3月に設立

現在11名が在籍

[東邦銀行陸上競技部]

全日本実業団対抗陸上競技選手権

女子総合3連覇

印刷業務、ゴム印作成業務等で活躍

活発なクラブ活動

「東邦銀行陸上競技部」、

「東邦銀行野球部」をはじめ

「吹奏楽部」「合唱部」など

9クラブ総勢237名が活動中



[東邦銀行野球部]

県早起き野球大会 **2連覇**

[吹奏楽部]

[合唱部]



6. 地域貢献・CSRへの取り組み

ふるさと“ふくしま”の持続的発展に貢献していくため、「地域社会の活性化」「地域の環境保全」を重視したCSR活動を展開

未来を担う子どもたちの育成支援

子どもたちが安心して遊べる場の提供

屋内遊び場「とうほう わんぱくランド」を
当行研修センター(福島市庭坂)に設置
一般開放期限を平成26年8月まで延長
平成25年11月現在 **来園者数 1万人**

【とうほう わんぱくランド】



【福島大学提供講座】

教育支援への取り組み

平成23年度より「**福島大学提供講座**」を
開講
役職員が講師となり、「地域金融論」に
ついて講義



【エコノミクス甲子園】

全国高校生金融経済クイズ選手権
「**エコノミクス甲子園**」を開催

平成24年12月 福島県で初開催
参加校 11校
参加者 19チーム 38名



【親子金融教室】

「**TOHO 親子金融教室**」を継続開催
子どもたちに「お金の使い方」「銀行の業務」
について理解を深めてもらう目的で開催

<内容>

1億円体験、外部講師によるゲーム、
本店貸金庫の見学など



文化・スポーツの振興

地域の文化・スポーツの振興への貢献

地域のスポーツ振興の推進を目的に
県営あづま陸上競技場の
ネーミングライツを取得

<ネーミングライツの内容>

名称 「**とうほう・みんなのスタジアム**」

期間 平成25年5月～平成30年3月

【とうほう・みんなのスタジアム】



地域の文化・スポーツの振興への貢献

「**福島ユナイテッドFC**」のオフィシャル・
スポンサーとして活動を支援
東邦カップ「**第2回 ふくしまリレーズ**」を
福島陸上競技協会と共催
活躍を期待するスポーツ選手・
全国大会出場校へ**激励金**を贈呈

【ふくしまリレーズ】



環境保全への取り組み

「とうほうの森」づくりの実施

平成21年度より行っている役職員や
家族による植林活動
これまでに、須賀川市、喜多方市、
北塩原村で実施
「**クリーン作戦**」の実施

【「とうほうの森」づくり】



役職員による、地域の清掃活動

平成25年度は「東北六魂祭」にあわせて実施

本店、福島市内支店役職員 **約330名が参加**

各種商品などのお問い合わせは、最寄の支店
もしくは下記の窓口へ、お気軽にご相談ください。

各種商品・サービス内容のお問い合わせ

・ハローサービスセンター 0120-14-8656
トホー ハローコール

事業資金のご相談(金融円滑化に関するご相談)

・ビジネスローンプラザ 0120-1047-17
トホーなら いーな

個人向けローンのご相談(金融円滑化に関するご相談)

・「福島」「郡山」「八山田」「須賀川」「会津」
「いわき平」「いわき鹿島」「白河」「仙台」

の個人向けローン専門店 0120-608-104
ローンは トホー

ご意見・ご要望等の受付窓口

・「お客さま相談室」 024-523-3131

東日本大震災により被災されたお客さまの、預金
や金融商品などのお取引、融資のご返済に関する
ご相談や新規申込みなど、さまざまなご相談を受け
付けております。

被災されたお客さまのご相談

・0120-14-8656

臨時休業店舗でお取引のお客さまのご相談

・0120-104-157

本資料には、将来の業績に係る記述が
含まれておりますが、こうした記述は、
将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等に
より異なる可能性がありますのでご留意
ください。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

東邦銀行 総合企画部

TEL 024-523-3131

FAX 024-524-1425